

柿木図書館及び周辺施設の更新方法（たたき台）に関する アンケート結果について

【アンケートの概要】

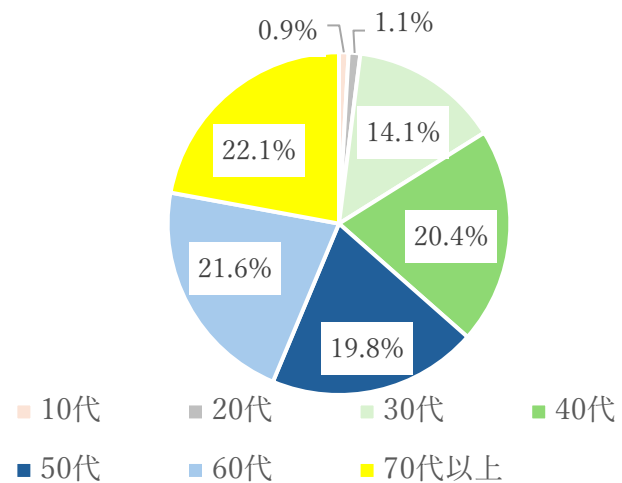
回答期間：令和8年5月9日(土)～5月31日(日)

回答方法：区ホームページ上のアンケートフォームから回答又はオープンハウスや対象施設等に設置したアンケート用紙で回答

回答数：348件（アンケートフォーム290件、紙58件）

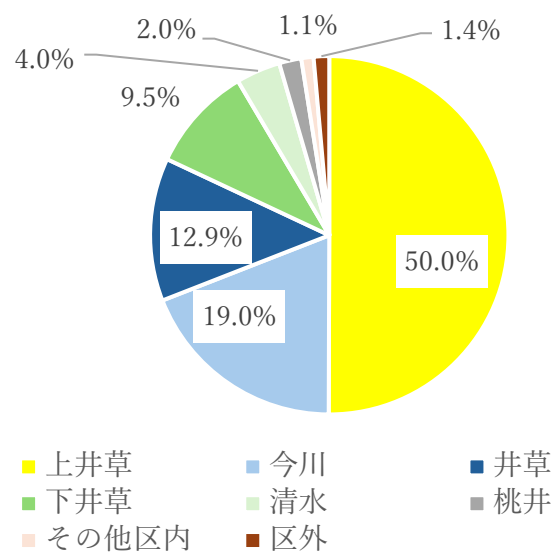
問1 年齢をお聞かせください

	人数（人）	割合（％）
10代	3	0.9%
20代	4	1.1%
30代	49	14.1%
40代	71	20.4%
50代	69	19.8%
60代	75	21.6%
70代以上	77	22.1%
合計	348	100%



問2 住所をお聞かせください

	人数（人）	割合（％）
上井草	174	50.0%
今川	66	19.0%
井草	45	12.9%
下井草	33	9.5%
清水	14	4.0%
桃井	7	2.0%
その他区内	4	1.1%
区外	5	1.4%
合計	348	100%

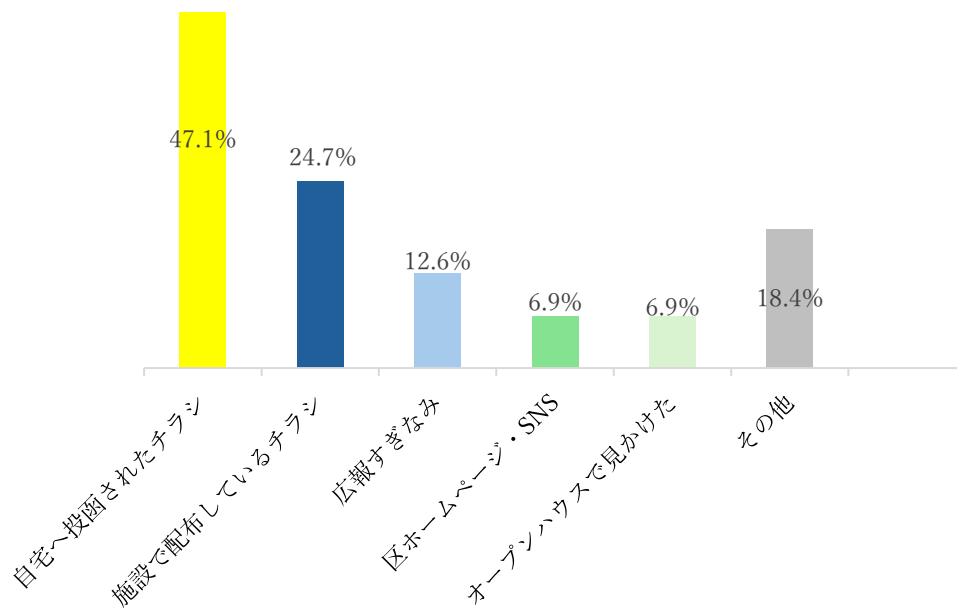


問3 この取組を知ったきっかけを教えてください（複数回答可）

	人数（人）	割合（％）
自宅へ投函されたチラシ	164	47.1%
施設で配布しているチラシ	86	24.7%
広報すぎなみ	44	12.6%
区ホームページ・SNS	24	6.9%
オープンハウスで見かけた	24	6.9%
その他	64	18.4%

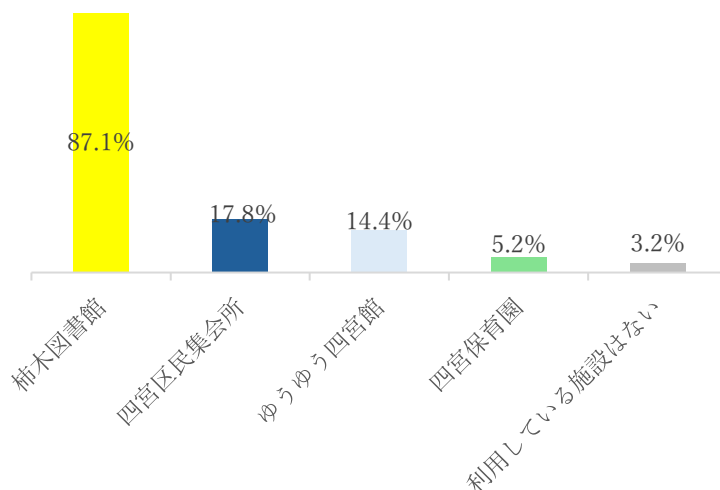
「その他」の具体的な内容（抜粋）

知人や家族から聞いた
井荻駅前でチラシを受け取った
小学校の案内（TETORU）で知った
町会で情報共有があった



問4 主に利用している施設をお答えください（複数選択可）

	人数（人）	割合（％）
柿木図書館	303	87.1%
四宮区民集会所	62	17.8%
ゆうゆう四宮館	50	14.4%
四宮保育園	18	5.2%
利用している施設はない	11	3.2%



問5 たたき台1（区民集会所は改築せず、保育園・ゆうゆう館、図書館を現地改築する案）について、良いと思った点や気になった点があればご記入ください。

場所が現状変更なしでベスト
気になった点：築年数は比較的浅いが区民集会所を、保育園・ゆうゆう館と合わせて改築するほうが、地域の交流や、子どもとおとなの交流がより促進される施設となり地域の活性化につながると思う。
区民集会所はいずれ建替の時期がくると思います。資材は年々高騰していくので単独の建替は無駄が多くなると思います。
集会所もゆくゆくは建て替え時期が来ると思うので、今回の中でほかの施設と一緒に更新しておいたほうが土地の一体利用もできていいと思う。
区民集会所はつかったこともなく、存在を知りませんでした。
築年数が浅いなら無駄に改築しないでもいいと思う。
柿の木図書館の場所が変わらない点が良い。
現地改築が望ましい。
賛成、図書館の位置を変えてはいけない。美しい環境を守ってほしいです。
良いと思う
図書館しか利用していないので、他はわからないのですが、図書館は緑に囲まれた静かな雰囲気が良いので同じ場所で改築でも良いと思います。本を取りに行くのに上がりづらい場所があるので広くなって、どこでも行きやすくなると良いなと思います。
何れ区民集会所も改築が必要なのでは。
必要な所に必要な改修をタイムリーに行える。集会所を改修しない分予算的にも抑えられる。
代替場所を提供してください。
工事中、使用出来ない間の何処か振替で使える所はないでしょうか。
区民集会所の築年数が浅いのであれば無理に改築する必要は無いと思う（費用の無駄遣い）。施設が老朽化しているものだけを改築するので良い。
説明を伺って、区民集会所もいずれは改築するときに来るのであれば、全部改築したほうがよいと思った。たたき台1、2は柿木図書館を地域の人が大事にしている気持ちを大切にしている。
築年数が浅いなら改築しなくても良いのではないかな
費用が抑えられるのは良い。図書館は今の場所が静かで緑に囲まれて気に入っている。
図書館の停止が長すぎる。再検討願う。
現存の場所で住民が慣れ親しんでいるため、現地改築が良いと思った。
元の場所を活かすのは、今までと環境の変化がなくよいと思いました。しかし、いずれ建て替えるのなら、一度に改修してもよいかと思うので、この案は反対です。また、保育園の仮場所が線路を越えてしまうことは登園への環境が変わってしまうので反対です。
バランスがよいと思います
区民集会所もいずれは改築しなければならないのであれば、同時期に改築した方がよいのでは。
現状維持でいいと思う。
良い案だと思う
良いと思った点：保育園・ゆうゆう館、図書館を現地改築するため、配置が変わらないことが利用する周辺住民にとって変化の負担が少ない。また地域の子どもや大人の居場所や交流場所となる、図書

館、ゆうゆう館、区民集会所がそれぞれあることによって、利用者が利用する施設を選ぶことができることも良い点だと思う。
図書館の場所が変わらない点が良いと思った。
集会所の利用頻度は比較的少ないのでは？こちらをゆうゆう館にして通りに面した梅林をプレハブの様な簡易の保育園と遊び場に出来たら良いかと思いますが。
資材費、建築費が高騰しているため、築年数が比較的浅い区民集会所の改築は今回は見送りでも良いかと思います。
区民集会所も行った事ありますが、古く感じた。
区民集会所に行く機会はお祭りの時だけです。その他、子育て世代も同様の方が多いのでは？築浅なので気持ちは理解できますが、残しておいても今後利用率減少の恐れはないでしょうか。普段何に利用されているかも不明です。今後有意義な施設とするためにも図書館合築が良いと考えます。
図書館の場所が変更なく使い勝手が変わらないので良い。
比較的低コスト、休止期間が短い
利用者が限定されていると思われる集会所は、改築する必要は感じられない
このたたき台 1 の案でいいと思います。ただし、改築中はゆうゆう館は閉鎖となり、保育園は代替地に仮設するので、それならゆうゆう館も併設できないものなのかと希望します。
四宮集会所はもう少し誰もが使えるような形にするといいと思います。習い事がある時に使用するのみです。
図書館とゆうゆう館をこれまで通り利用できる点が良い。
集会所を月に 2 回利用しているが、改築する程古いとは思わない。トイレは、便座が暖かいものに変えてもらえると有難い。
財源も資源も有限なので、築年数が浅いものをそのまま活かすという点はいいと思いました
区民集会所を改築しない点が良いと思う。築 60 年でも工夫次第で魅力的な施設にリフォームすることは可能だと思う。図書館を移転しない点も良いと思う。できたら図書館も改築するのがもったいないくらい美しい外観であるし、緑地や屋敷林に囲まれた環境はとても貴重だと思う。
柿木図書館は緑の景観も含めて今の場所に残して欲しいため、賛成致します。
図書館の位置は変わらないほうが良い。工事期間もできるだけ短く願いたい。高齢者のため再利用可能な時期は早く。
柿木図書館が区内で一番古い図書館と聞いたことがあるので、築年数を考えれば改装などの必要性は感じる。
他の案に比べ少ない費用で出来そう
図書館が現地のまま、というのが良いと思った
現状に一番近い。今後に向けての新しさがない。保育園利用者に不便。
築年数が浅いものはいいとして、古いものは建て替えて過ごしやすく利用したくなる施設に変えるのはいいことだと思う。
むかしからこの場所にある柿木図書館なので、思い出がとてもたくさんあります。場所が変わってほしくありません。
立地が変わらないのは良い
良い点はコスト面で優位と感じました。
いずれ集会所は建て替える。その時、建替えの制限がある。

利用者目線では、場所が変わらないことに安心感があると思います。また、築年数や現在の施設状況にに応じて、改築する施設・しない施設を分けている点も、経済合理性の観点から無駄が少ないと感じました。保育園については、自転車で通園している家庭も多いと思うので、仮設園舎への一時移転があっても、比較的対応しやすいのではないかと思います。
費用が抑えられそうな点が良いと思った。
場所は変わらないが、工事のあとも今までどおりに利用出来そうだと感じた。
同じ場所での建て替えのため、利用者に馴染みがある場所という利点がある。保育園の建て替えのために仮設園舎を準備するため経費がかさむ。集会所も決して築年数が浅いわけではなくいずれ近いうちに改築せざるをえないと思われるので、今回、同時に着手した方が良いとおもう。
費用が変わらないのに、区民集会所を残すのはなぜか
図書館は老朽化しているので改築に賛成
この案が一番良いです。区民として箱物を壊したり建てたりせず、できるだけ費用をかけないで欲しいのと、多世代交流のためのコミュニティふらっとを進めていますが、他人の子供や孫と交流しませんし、年配者はゆうゆう館がある方が使いやすいです。
また、築年数が浅い区民集会所はそのままとすることで、コスト的な面から優れていると思った。
周囲の環境を壊さずに、かつ、コスト的にもリーズナブルが良いと思う
図書館にエレベーターがないのは不便。
区民集会所を改修しないのは、出費の無駄を減らす意味では良いと思う。図書館の現地改築には賛成。
築年数が浅い建物を改修するのは無駄である
集会施設と図書館は同じ場所の方が、住民の利便性が最大化できる
現状維持のため、知らない人でも困らずに使用できる。
図書館の立地が長年定着している。
この案が 1 番良いと思う
これならゆうゆう館と集会所をひとつにまとめる案の方がやる意味があるように思う。
綺麗になってくれたら嬉しい
耐震上危険性がないのであれば、建て替えをする必要は無いと思います。思い出と共にアップサイクルするリノベーションという選択肢がこれからの廃材(ゴミ)の排出軽減、地球規模の資源活用といえるのではないのでしょうか？柿の木図書館も既存建物をリノベーションすることでも、住人の要望は叶えられるように考えられます。モダニズムの空気を含んだ魅力的な建物なので、スクラップアンドビルド以外の選択肢も考えて欲しいです。杉並区が、アップサイクルの取り組みの先陣を切るような自治体になって欲しいです。
四宮保育園に通っているため、踏切を超えた所の仮設を利用する点が、不便です。朝忙しい中、ラッシュ時の踏切を待つことが時間ロスとなると考えられるためです。また、今年度出生する子がいるため令和 13 年度から不安です。ゆうゆう館との一体化のメリットとして上がっている内容ですが現在上の子が年長(あじさい組)ですが、高齢者と幼児が交流する機会は一度もありません。
長年利用しているなじみの場所であり、環境も良好なので、図書館に限って現地で改築していただきたい。
図書館は明るくて周りも整備されていて公園になっていたり楽しめるのがいいですね
周りが新しくなっている所以綺麗になるのは良いと思います。

良い点 ・集会施設の改築しないこと 気になる点 ・2施設を改築する事
施設の配置が変わらない点がいいと思う。
公園と一緒に作りが多いので期待します
図書館を改築する必要は無いのではないかと。改装工事で十分だと考えます。
それぞれふさわしい環境で改築されるのは良いことだ。区民集会所も改築してほしい。
リーズナブルな点が最善と史料。
現状からの変更が一番少ない案なので好感を持ちました。どの施設もほとんど利用しておらず、現状の問題点を実感していないからかもしれませんが。ゆうゆう館の休館中も代わりに区民集会所を利用することができるので、一部の活動、イベントは継続できるのではないかと思います。
改築は老朽化が進んだ建物だけで良いと思う。図書館に関して、大き過ぎない図書館で、人が多すぎずとても利用しやすいので規模は今のよう形で改築して欲しい。
築年数が浅い施設をそのまま活用することで、財政負担軽減になると思います。現地改築であれば、場所に馴染みがあり、違和感なく活用できて良いと思います。
場所が変わらず、利用者への影響が少ない。図書館には今の場所にあってほしいと思います。お金のことを考えれば、比較的築年数が浅い区民集会所は改築しなくてもいいのでは？
代替場は必ず必要です。
区民集会所は小さくて、もっと魅力的なものにして欲しい。費用の面からもある程度は統合すべき。
図書館が研究施設として機能してほしいと考えています。ラウンジ機能や交流機能がある、同時に研究施設としての図書館を維持することを求めたいため1の案が良いと思います。また、各施設の機能を独立して確保できる点は大きなメリットだと思います。
それぞれで今までやってきたことを活かせると思います。
仰る通り、築年数が浅い物件の改修を保留として、改修が必要な物件を先行させる案はとてもいいと感じました。
四宮保育園、柿の木図書館は確かに古いのと現地改築した場合、柿の木図書館は井荻中学校四宮小とも近く、登下校時の緊急時に駆け込みやすい
集会所も近い将来改築することになるので、資材費が更に高騰することなどを加味すると、今改築した方が良いと思う。
どうせやるなら、全施設更新にして、使い勝手を揉んだほうが良い。仮設保育園が気になる。
図書館が綺麗になること
四宮区民集会所の中は綺麗で畳の部屋もあり、特に不便を感じてはいません。今回は改築を行わなくても数年後に建て直す必要が出てくると考えると、今改築しても良いのかなとは思いますが。
皆が利用するゆうゆう館や図書館は改修してほしい
図書館の移転は反対です。
反対。コストが一番かかりそう。
これが一番しっくりする。理由としては現在地が変わらない点。コストは高くなるかもしれないが下手に集約せず現在の建物立地を改築することで保育園や集会施設が遠くなったなどが起きない
保育園とゆうゆう館が同じところにあるのが良い。区民集会所を改築しないところが良い（使える限り使う）（環境、経費面）。区民集会所が現在と同じ場所にあるのが良い（春祭りなど地域の行事がある）。いずれも同じ場所にあるのが良い。
ゆうゆう館には常にまともなマッサージチェアがあってほしいです。

現在の場所で継続利用できるのが望ましいと思った
建て替えを予定する施設近くに区の施設があることで代替場所の確保が検討でき、利用者への負担が減るので良いと思う。
近くて良いです。
図書館は、綺麗になったらより使用頻度が上がると思います。
当案が基本で、これを変更する意見が利用者・潜在利用者があれば検討することです。小生はたたき台①を支持します。
区民集会所は改築しないでも大丈夫なのか。使い勝手に限界が来てないか気掛かり。
新しいものは、できるだけ使うのが望ましいと思います。図書館は、駅やバス停から近いことで様々な人が通えているので、場所が変わらない方が望ましいと思います。
柿木図書館しか利用した事はないが、建物の老朽化は否めない。また、入口に至るまでの階段があることから、バリアフリーの面でも改修の必要性を感じる。ただ大変静かな場所のため、図書館としては周囲の環境がとても良いところなので、今あるところでの改修が理にかなっていると思う。
場所が移転せず、現在の利用者等に不利益変更が少なく、必要な改築のみで済むため、1番合理的かと思う。
区民集会所が新しいといっても改修の時期はおとずれるのでいま新しくするべきではないか。
費用は節約できそうだが、将来区民集会所を改築する際、工事が隣の保育園にとって、騒音等で困るようなことにならないかと思っています。
柿の木図書館が現在の場所のまま、改築されるのであれば利便性も良く、いいと思う。
このたたき台が一番良い
区民集会所は築年数が相対的に浅いとはいえ、40年を超えるため、近い将来建て替えが必要になる。土地の有効活用や施設の一体化を行うならこのタイミングを逃すとできないため、一体的に考えるべき。
賛成です。図書館はそのまの場所が良いです。
区民集会所とゆうゆう館は、グループでの趣味や学習、生き甲斐活動に使われるのだから、一つの施設にまとめるこの案が効率的だと思う。
みんなが利用しやすい雰囲気があればいいと思います
区民集会所はトイレが古い感じで、この機会に改築したほうが良いと思う。
いずれ区民集会所を改築するなら一度に改築した方が良くと思うので、たたき台2が良いと考える。
杉並区の財政を考えた上で、この案が1番安くなるではないかとおもいます。集会所はまだ築40年と言うことですので、壊すのは勿体ないと思います。
施設の配置が今と変わらない事は長年住んでいる人への大きな配慮になる。またシンボルも大事ではあるが、施設の機能をより優先すべきではないか。
老朽化に問題があまり見られないのであれば、区民集会所の改築は必要ないと思うが、その点の詳細が分からないので何とも。また、区民集会所の利用がどれくらいあるかという事も改築の必要・不必要に関わってくると思われる。
四宮区民集会所の改築が20年後に必要となるのであれば、結局その時にコストもかかるので、ゆうゆう館や図書館と複合化したほうが効率がよいと思う。
この案が最も良い。仮設保育園は不要。一定期間休園として欲しい。
劣化が酷い保育園もありこれからの未来ある子供達にも投資をして欲しいと感じています。

ゆうゆう館と保育園は同じ場所がいいと思う。図書館は現地で建て替えて良いと思う。
改築する間の代替案はありますか？その間図書館は使えませんか
現地改築では単なる改装に留まる可能性が高い。
柿の木図書館がそのまま図書館単体として残るのであれば賛成です。
集会所の利用がないのでイメージはつきにくいですが現在利用している保育園が移動せず、現地改築であれば問題ないかと思います。
厳しい区予算の中、改築する点をきちんとまとめて、有効的な対応が望まれる。
それぞれの館の地域に寄り添った提案でよい。保育園の既設規模と今後の子どもの出生率を考えると小規模区立園を維持するよりも民間の参入を促す方が区財政的にも利用者にとってもメリットがあり、ゆうゆう館と合わせて改築することで保育園を廃止検討してもゆうゆう館を主体とした施設として展開できるような複合的な施設設計ができると思う。
ゆうゆう館を利用しているが、仲間同士の交流もあり、毎日楽しく参加している。また、職員の方が親切で出かける日は心も軽やかでその日は一日気持ちが高揚している。
コレがいい
将来的に、老朽化した区民集会所のみを改築することになる。その工事期間中の騒音や振動等による、隣接する保育園の環境が懸念される。
この案が1番良くて現実的。そのまま馴染みのある場所で混乱が少ない。
図書館やゆうゆう館を使っている身としては、慣れているので今のままで現地改築する案に利点を感じます。2案、3案の場合、ゆうゆう館がなくなってしまうのではないかと心配です。なくならないのであれば2案、3案もOKです。
柿木町会には図書館が良い。環境面。住宅地に合っている。設立当時の地域の希望からも現地に残してほしい。
図書館が利用しやすいので、物価高騰のためできるだけ長期利用が望ましい。
いずれ区民集会所が改築となった時に、近隣や隣接する保育園に音の問題や重機の出入りなど影響がでそうだから
良いと思います
工事中の代替を決めてほしい。
費用が抑えられる。保育園の移転がない。
幅広い年齢層が利用されている、なくてはならない施設ですが、確かに老朽化しておりますので、更に使い易く、個々の学習スペースや読書の学びの場として引き続き、地域の充実した環境提供を期待しております。
図書館を移転しない点、集会所を無駄に改築しない点が良い。
できればどこも現在の場所がよい
予算の関係で優先順位をつけるなら図書館を現地改築する案を優先したい
四宮集会所のトイレを全て洋式にしてほしい。他の施設は現地改築してほしい。
築年数が浅くて安全が確保されているものは、費用の面からみても、改築する必要はないと思う。
区民集会所の土地を建て替えのとき生かせない。面積が小さい。使いにくい設計となってしまう。
現地で改築が一番慣れ親しんだ場所にあるから。
区民集会所は今のままでよいと思う。保育園とゆうゆう館 図書館は今の場所で使いやすくして欲しい。

保育園の園庭が現在よりも小さくなること、仮設園舎が線路より北側になることが気になる。
コストが低そうです
区民集会所もかなり老朽化しており、改築が必要ではないか。コストの点は、改築の規模の検討の中で対応出来ないか。
区民集会所も築年数は40年以上なので、他の施設とともに建て替えたほうが良いと思います。
改修が必要ないものを、すぐにこわすのでなく、長く使っていくことが原則。子供は減少し、高齢者は増える一方。高齢者の居場所づくりは、大切な課題。夜間の事迄考えなくてよい。
柿木図書館が移転しなければこちらの案で構いません
柿木図書館の場所は同じところを希望します。静かで安全な環境のため。
ゆうゆう館利用者（ご年配の方）が継続して今まで通り区民集会所で活動できる。
一時的ではあるが保育園が駅から近くなり良い。ゆうゆう館と保育園は同居する必要があるかわからない
図書館は「柿ノ木」の地名で現地に残していただくことを希望します。図書館内にコミュニケーションの取れる部屋が欲しいです。
配置替えしない点が良い。区民集会所だけそのままだと交流年代層が限定的になりそうなのが気になる点。
集会所の役割の広がりがないことと、集会所が古くなったときに改築ができないのが良くないと思います
保育園はなるべく、駅に近い場所に開設したほうが、登園降園に便利で、子育て世帯は楽だと思います。区民集会所や、ゆうゆう館をもっと、区民の方に有効活用して欲しい。夏が暑すぎる中、こども達が安全に遊べる場所がすくなすぎるようにおもいます。ゆうゆう館のもっと使い方を改善して頂きたいです。
集会所もいずれ改築しないといけないので、今回改築しないことは課題の先送りになってしまう。土地を有効利用するために全部を一体的に活用するたたき台2や3の方が良いと思いました。
住宅街の静かな場所で良い。今のところスロープがづらいので、エレベーターか何か設置してほしい。
役割の変更がなく現地改修かよい
現位置改築は利用者の距離的意識も変わらず、費用的にも、築浅施設の継続利用はメリットがあると感じます。
図書館の解体・新築を保留するのであれば、集会所に手を付けず、他の施設の現地更新を基本方針とするこのたたき台がベストに近い。
区民集会所は地域の区民活動の始まった場所、そしてこの地域では最も古い区民集会所。改築が必要でしょう。
場所は変えず、図書館のままにして、改築するのがベストだと思います。
古い建物なので改築は必要だと思います。
現状のままの場所が良いと思います。
交通の便も考えこちらが良い
集会所が改築に入ることによって計画が遅れるなら、優先度が高いものから実施しても良いと思う。
当面区民集会所が継続利用できる
良い 合理的で必要な部分は改築される。気になる 集会所の改築予定が気になる。

区民集会所が改築のときには敷地が狭くてうまく活用できないので反対。
元々ある場所を移動するのは利用しづらくなるので場所は変更しないほうが良い。
図書館をよく利用しているので休館が3年で収まるのがいい
現在の区民集会所は用事がない場合以外に立ち寄りにくい。若干閉鎖的なフリースペースに受付職員が数名常在して、夕方帰宅しない子供に声掛けして下さるのはありがたいのですが、少し立ち寄って休憩しようと思うと見張られている緊張感がある。建替えの必要はないと思うがレイアウト変更がされると良いと思う。
築年数が浅いのであれば、継続使用で良いと思いました。
四宮区民集会所の稼働率は低いように感じるため、同じ場所で単独改築しても稼働率が上がることはないような気がする。比較的築年数が浅いといっても42年なので、保育園・ゆうゆう館の土地と一体的に改築した方が良いのではないか。保育園の仮設園舎が少々遠いこと、線路の北側なことが気になるが、他に仮移転する先がなければ仕方がないのではないか。
築年数が浅いものを無理に改築する必要はないと思ったことと保育園の場所を動かすことで何か問題が起こる可能性があるのなら、動かさない方が良いかもと思った。
それぞれ今の場所が良い
躯体はしっかりしているものなので、リフォームなどできれいにするだけでも利用者が心地よく過ごせるようになると思います。
一体の土地なので、合築して建て替えたほうが良いと思う。
それぞれの所在地を変更せずに改修するのがとても良いです。
区民集会所は築年数が少ないとは思えないくらいなので、清潔感の感じられるように改築などで、更なる多目的な用途に使える施設に工夫した方が良いと思う。保育園は駅から近く通わせる保護者の利便性を考えると、仮設ではなく正式に保育園をたてたら便利だと思う
物価高なので、築年数が浅い集会所はまだ残しておくのはよいかも、と少し思いました。でもいずれ改築するなら、一気に検討した方が良いのか…。
保育園・ゆうゆう館・区民集会所が近くに集まっていて交流がしやすそうと感じた。図書館が現地で変わらないので、利用者（主に朝のオープンから並んでいる高齢の方）にとって良いと思った。ただ、保育園の仮設をどうするか（解体費、それまでの通園で線路を渡らなければ行けないので安全面）
費用が安く押さえられるから良い。慣れ浸しんだ場所に施設が有るのが良い。
現在の所在地での利用が馴染み深い。
3案が良い。
保育園の仮設園舎設置のためのコストは具体的にどの程度を想定されていますか？全体的に定性的な議論に終始し、定量的（金額面）な記載がないのが気になります。また、仮設園舎の使用後がどうか、も明記されていません。仮設園舎の案はそんなに簡単にできるとは思えませんが、それとも中瀬中学校のようにプレハブでしょうか？
集会所は築40年と聞きます。トイレ等を改築すれば、まだまだ使用可能、たたき台2、3よりも費用が安く済む。
現利用者への影響が少ないと思うが保育園は独立しているほうがセキュリティ上安心と思う。
まず、ベースとして、図書館と保育園は現地で残ってほしいと思っています。その上で、たたき台2と比較してコストが抑えられる点は良いと思いますが、集会施設の将来的な改修改築の必要性やコス

トが将来的に増段する可能性を考えると、今回集会施設も併せて改築し、スペースの有効活用や設計の自由度を上げる選択の方がより望ましいのではと思いました。
総じて色々と負担が少ないから
図書館の場所を変えて欲しくないので賛成。比較的新しい区民集会所は更新する必要なし。
図書館は現地改築が良いと思います
築年数が浅い区民集会所は、改築せず、他改築するのは理にかなっていると思う。場所も変更無しが良いと思う
保育園仮施設が線路沿いなのが気になる
日々の利用者が多い図書館を現地改築すると機能の縮小や一時廃止が予測され区民サービスの低下が著しい。
いつも図書館を利用しているが、自宅近くであったからいつでも使い勝手が良いため、引続き同じ場所に位置してもらえると大変助かる。
保育士、保育園児が仮設に一時的に移動しなければいけないのは大変だと思いました。
区民集会所を残す必要性をあまり感じません。ゆうゆう館と一緒にして集会施設として、使えたらいいのではと思います。
拠点を集約させるのは管理しやすくなりますが築浅の建物までも新しくする必要は無いと思います
図書館機能を数年止めても、保育園を先に建てるプランの方が利用者にとってもメリットは大きいのではないのでしょうか。
ゆうゆう館建て替えの間休館すると聞いた。活動出来る場所の確保を団体、協働事業ともに望みます！
まだ、使える区民集会所はそのままがよい。みんなが行き慣れているならば、引き続き通いやすいと思うので。
集会所はなるべく使用できるまで使用してほしい。何でも新しくすればいいという考え方より、現在何もかもが高くなっている建築費を考えると①がいいのではないかと考えます。
配置が変わらないことと、図書館の休館期間が3年と短いことが良いと思った。
築年数が古い建物は改修が必要だと思います、震災など心配ですので良いと思います
ゆうゆう館は、私達（高齢者）の憩いの場になっており、体力づくりや頭を使ったり、とても大事な場所です、高齢者の居場所がなくなってしまうです。
図書館は利用していますが以前から老朽化が気になっていました。もう少し明るくなることを希望します。
区民集会所は築40年とのことで改築にはまだ新しく、また、施設も大変きれいなため、たたき台1はとても良い。ただ、区民集会所の出入口の形状から、単独での改築ができないと聞き、そこが気になる。梅林の所有者の方の許可などいただき、単独での改築ができると良いと思う。
平日日中集会所に行った後にゆうゆう館に立ち寄ったが集会所に人が誰もおらずスペースの無駄遣いだと感じた。保育園・ゆうゆう館だけの改築で良くなるのか疑問。
築年数が浅いのであれば、まだ改築する必要がないと思うので、たたき台1に賛成。
それぞれの形を残し、場所を移動しないことでこれまでと同じ規模だからこそ受けられる行き届いたサービスが受けられます。

20年持つならまだ使ったほうがいいと思う（区民集会所）が建築費の値上がりを考えてのことだろうか？図書館はあの場所で周りの環境含めて図書館としてあるので、そのままが良いと思う。樹木植え替えできるのかな？
単に複合施設という考えでなく、図書館機能自体を強化して、荒川区ゆいの森図書館やヘルシンキにある Oodi のように、みんなが集える場所として改築してほしいです。
ゆうゆう四宮館代替施設に四宮区民集会所の活用が考えられ高齢者の他代替施設への移動負担の軽減が考えられる 四宮小学校や四宮森児童館の建替時にあわせて改めて周辺施設の更新を地域で考える事ができる 今までの区民意見を参考にして下さい
施設の改築は必要と思います。できれば図書館周りの樹木は残したい。
工事中施設が閉鎖されて活動できないのが困ります。
築年数が浅い区民集会所を改築しないのは、予算の面からも良いと思った。図書館等を現地改築するのは、利用している人間としては、一番良いです。柿木図書館は緑も多く、柿木の由来の柿の木も健在で環境も良いです。
図書館移設しないので可、ただしバリアフリー化(2F への車いす対応)必須
柿木図書館は改修等しながら現在の地にずっとあってほしい。環境、新し過ぎない雰囲気最高です。
立地の都合で、そのまま区民集会所を残すというのは、将来的に好ましくないと思う。
区民集会所は使いやすく便利です。使い慣れた場所で現地改築が良いですが、改築の間の移転がどうなるのか。
ゆうゆう館が改築されている間、ゆうゆう館での高齢者グループの活動が継続できるよう、区民集会所をその間使わせていただくのが、利用されている皆さんにとって1番便利でよいと思います。
費用面の節約。図書館は古いですが、建築物として価値のあるものだと思うので、外観はあまり変えないほうが良いと思います。
集会所の面積が狭く、将来建て替えるときうまいプランが入りにくい。
区民集会所も築年数が42年を超えてきているとのことで、せっかく保育園とゆうゆう館を建て替えるなら一緒に全部を建て替えた方が区民にとって使いやすい施設ができる。将来、区民集会所を建て替えるのであれば、その時の建築コストはさらに上がっているかもしれない。
なるべく費用をおさえ、また将来の少子化も見据えると、こちらの案が良い。
この案が最も良い
図書館は昔から行き慣れている今の場所が良いです。
保育園の仮移設に伴う利用者の不便を懸念
まだ使えるので有れば、集会所を改築しないということに賛成です。また思い出のあるその他施設も、現地改築が望ましいと思います。
現地改築だと、元々のユーザーが使いやすいと思う
図書館が近くて便利、費用が少なくて済む、評価は◎
小学校や中学校から近いことで、学生の使いやすさにも繋がっていると思う。
図書館の位置が変わらないほうが利用しやすい
区民集会所は利用したことがないので、改築の必要性があまりわかりませんが、さほど古くないのであれば、改築は不要なのかなと感じます。こちらの案が1番過不足ないのではと思います。
仮設園舎を建てるためにいま植えられている遊び場の木が切られてしまうのが切ない。
場所が維持できて良い

各施設の目的がはっきりした上で集会所をどうするのか検討したらいいと思います。
古くなっているので、防災等の面でも良いと思いますが、代替地を確保していただきたいです。
たたき台1の案に賛成です。築年数が浅い区民集会所を改築する必要性を感じません。緑に囲まれた中で読書ができる環境を残してほしい。
保育園は、駅に近い方が通勤途中で預けやすいからこの位置だと有り難い(現図書館の位置に保育園があると、平日忙しい時にプラスアルファの時間がかかってしまい通いづらい)。
一番無駄が少ない案だと思います。
築年数の経った図書館等を改築するのが良いと思います。
固定利用者としては、移転ではなく現地改装がベストではないか。
場所が変わらないのは良い。保育園が仮設というのはかなり気になる。
区民集会所は現在の建て方は無駄が多く、有効に使いきれていないと感じる。
図書館は単独で建てる案。保育園とゆうゆう館の併設はお互いの交流ができて良いと思う。
立地の良さや歴史の重みを活かして現地建て替えが望ましいと思う。
改築は必要と思います
現在の場所から変更がなく、混乱しない。老朽化した施設を優先して改築できる。
集会所および保育園・ゆうゆう館を使っていないので案1・案2の違いは私にはわかりません。もし現行の集会所が使い勝手が悪く、案2によって活用方法が大きく変わるのであれば、数億円程度（年換算1千万円程度）なら案2の方がよいように思います。集会所については今後使っていきたいと思っています。
改築の間、図書館が使えないと困る
老朽化で使えない設備があるのでなければ、区民集会所は改築しなくても良いのではないかと思います。
税金の使い方としては、築年数が比較的浅い建物を改築しないというのは、とてもいいと思います
コスト面ではいいと思うが図書館の機能が改善されないように思う
一時の費用はかさむが有効に土地を生かせる。
そもそも、集会所と保育園、図書館は役割が異なるので、それぞれ単独での維持継続が望ましい。
気になった点は集会所含めて、一つの建物とした方が利便性が増すと感じました。
保育園とゆうゆう館は行った事がないので分かりませんが、図書館の現地建て替えに賛成です。
休館している期間が短いし落ち着いた雰囲気壊したくないです。

問6 たたき台2（保育園と集会施設を合築し、図書館を現地改築する案）について、良いと思った点や気になった点があればご記入ください。

保育園が新しくなることは良いと思った。また、災害時の転用などを考えると全ての施設が同じ建物というのはメリットかもしれない。前述がデメリットになることもありそう。
今の場所に図書館を建て替えるのが、使い慣れているので良い。周りの自然も多く、図書館として良い環境。バス停からも近いので、他の地域の区民も来やすい。
高齢者と児童の交流があったほうが良いかなと思いました。
現時点でそれぞれ不便なところを解消し、いいところ取りができそう
場所が変わらず、利用者への影響も少ないため良いと思う。全て新しくなるのは嬉しい。
保育園は防犯の理由で、誰でも侵入しやすい配置にしないほうがよいと思った。
コストはかかるものの、この案が最も良いのではと感じた。集会施設の利用層の固定化も解決できるのではないかと期待している。
日々の利用者が多い図書館を現地改築すると機能の縮小や一時廃止が予測され区民サービスの低下が著しい。
図書館はいまの場所のままがいいので賛成です。
図書館が改築されて場所がそのままがいい。
図書館は現状維持でいい。大規模改築はいらないと思う。
賛成します。土地の有効活用がのぞめる。図書館の立地を大切に生かしたい。
区民集会所も改築する場合、3年間どこかの別の施設に通わなければならないということになれば、遠いので続けられなという方も出てくるのではないかと思います。
最もベターだと思います。保育園・集会施設は将来子どもが減って利用者が減ったら集会施設を拡充しやすくなるように設計してほしいです。
保育園が仮設になる点、改築後に園庭面積が小さくなるのが気になる。今は広い園庭で遊べているが仮設の間は同じようには遊べない。仮設時期にかぶってしまう子どもへの影響は大きいと思う。保育園は毎日利用するものだし、子どもの成長への影響は取り返しがつかない。また、仮設園舎の場所が線路を越えたところになってしまうため、送迎時に余計に時間がかかることになるので影響が大きい。朝の1分はすごく大きい。園庭面積は近隣の保育園と比べると大きい方だが、幼稚園に比べると狭い。できるだけ広い園庭で遊べる方が子どもにとってはいい。
よく分かりません。
保育園仮施設が線路沿いなのが気になる。
それぞれ独立している保育園と集会施設を合築するのは、目的が異なる施設を共用するため、利用者の利便性が損なわれるのではないか。
現地改築が望ましい。1度に建て直してしまうのがいいと思う。
図書館そのまま○。樹木植え替えできるのかな？
集会所とゆうゆうの合体は、目的としても良いかと思う。
築浅を改築する必要はない
環境的にも図書館は現状の位置が良い立地ではないかと思います。保育園集会施設は近い方がお互いに利点があるかと思います。例えば（老人+子ども）お互いが活性するかと。
図書館の改築には賛成です。
図書館も移転がない方が助かります。

歴史的にも、今後のためにも、今ある場所での改築が合理的だと考えます。集会所と図書館などの文化的施設は集約せず、地域ごとの存在が望まれますので、良いと思います。
保育園はどうしても音が出るので、集会所との相性は良くないと思う
どれも老朽化が気になる施設なので、予算が通るなら全て改築してほしい
将来の人口構成を考えると、最も合理的な案と思える。
図書館以外の施設は利用していないので利用者の意見を尊重します。
図書館は同一地域へ。
保育園を広く取れるところ集会施設は別が良い。
お子さんたちを預けやすい園であるならというだけです。ただ、0歳児保育などは問題があるのではと考えます。
たたき台1とどのような違いができるのか、もし現時点で設計案などあるなら見てみたいです。たたき台1でも可能だと思いますが、集会施設と保育園の駐輪・駐車スペースを集約・共用とすることで土地の有効活用が図れるのかと思います。
場所の入れ替えがあっても良いが、必然性をあまり感じられない。
すべて改築するにしても、改築後利用してもらえる、利用しやすい場所になってほしいのでもう少し要件や利用想定が掘り下げてほしい
たたき台2が良いと思います。
施設の配置が変わらないため、環境の変化が少なく、施設を合築することで土地や建物を有効活用できて良い案だと思うので、この案に賛成。保育園の仮場所については、線路を越えてしまうので、登園への環境が変わってしまい、急いでいる時間の送迎に負担を感じます。場所を再検討してほしいです。
この案がいいと思います
施設利用者の中に、子供が得意で無い人がいたら入りにくくなってしまいます。
保育園と集会施設は異なる目的で、身近に保育園利用者がおられませんので、果たして同一箇所での疑問が残りますが、少子化傾向の現在の状況を思えば、それも有りかもしれないとも思えてきます。実際に保育園利用者さんのご意見が大きいように思えます。
図書館の位置が変わらないほうが利用しやすい
折角の改築の機会。今の施設の配置が変わらないのでは、発展性に欠ける。
整備コストが一番大きいとなっている点。ただしコストに見合うものであれば良いと思う。
柿の木図書館が現在の場所のまま、改築されるのであれば利便性も良く、良いと思う。
静かな住宅街に大きな建物を建てる事で、騒がしくなる事に不安を覚えると同時に、駅からもバス停からも遠い立地なので、そんなに人が集まるのか、必要ないのでは無いかと思う。
保育園と集会施設を合築すると、不審者が出入りしやすくなるのではないかと心配である。
図書館を利用したい気持ちがあっても、遠すぎる故、足が遠のいています。荻窪の中央図書館(でしたでしょうか)のような区外からの来館も見込めるような施設になればと思いますので、アクセスの良さは重視すべきと考えます。
図書館の改築大前提とし、集会所や保育園は今後も利用する機会ないため
良い点は場所の配置入れ替えが無く、幼児～老人様々な年代の利用を継続的に出来る上に交流がしやすい点。人の交流を目的とする施設と離れることで、落ち着いて図書館の利用が来そうで良い。

保育園と集会施設が合築された場合、両施設の交流や相互に機能を高める案を出していける場合、とても地域の活性化につながると思います。
場所が変わらないのは良い。保育園が仮設というのはかなり気になる。
基本的には案 2 が一番よさそうに思います。ただ、結局は内容次第だと思います。
予算が取れるならやれば良いと思う。
保育園と集会施設が一緒になると、子供やお年寄りの交流のきっかけになると思った。
図書館を集会施設と合築するより落ち着いた場所に出来る
図書館は今の場所が良いので、保育園と集会施設との合築に期待が持てる。
たたき台 1 と同様、四宮保育園に通っているため、踏切を超えた所の仮設を利用する点が、不便です。朝忙しい中、ラッシュ時の踏切を待つことが時間ロスとなると考えられるためです。また、今年度出生する子がいるため令和 13 年度から不安です。
これが一番いいと思います。保育園と区民集会所を同施設とし、子どもから大人まで一緒になって楽しめる施設にするのがいいと思います。図書館の移転は反対です。
保育園とゆうゆう館が同じところにあるのが良い。区民集会所が立っていたところは何になるのか？
保育園と集会施設の合築は集会施設が落ち着かないことが出てくるのでは？
集会所は今のままで良いと思う。利用率がどれ程か分かりませんが、敢えてお金をかける必要は無いと思う。
賛成、図書館の位置を変えてはいけない。美しい環境を守ってほしいです。
場所が変わらないのは利用者にとってメリット。それぞれの利用状況が分からない
図書館が単独で建てるのは良いと思う。
やはり、仮設保育園が気になる。保護者が踏切を渡らないといけないし、仮設期間中に入園し卒園する子もいてかわいそう。
建築コストが上がっていく中、集会所もいずれ改築が必要になるのであれば一度に保育園・ゆうゆう館も改築するのには賛成。保育園はセキュリティの配慮が必要ですがゆうゆう館と集会所施設を複合施設のように出来る。場所が変わること(たたき台 3)に抵抗がある人の意見を尊重するなら 1 番現実的。
図書館は今川図書館のように明るく綺麗になると利用者ももっと増えると思うので、改築は良いと思う。勉強スペースが試験前にいっぱいになるので、もっと増えるといいと思う。
図書館は現地改築が良いと思います
新しく地域の人が集まる場となりそうで、この機会にできればいいなと思います。
機能面でニーズにマッチしていない場合にはリフォームで対応できないでしょうか。
この案がいいと思います。
現地改築が最も適切。図書館が設置された経緯、歴史を尊重し、柿木図書館という名称を維持してほしい。保育園は駅に近い方が良い。
チラシのたたき台 2 の案は賛成。
現在の場所から変更なく改築されるので良いと思います。
気になった点は図書館にくつろげるカフェがあるといいと思います。
コミュニティふらっとがどういう施設なのか説明からは読み取れませんでした。
これが一番良いのではと思います。保育園とゆうゆう館を一緒にするのは、多世代間の交遊も可能になり、共にメリットがあると思います。

施設の配置が今と変わらない点は周辺住民への大きな配慮である。施設の機能を優先するべきではないか。子育て世代への施策を大きく掲げている杉並区にとって、6年間の休館は影響が大きい。子育て世代を支える現実的な受け皿整備と同時に、若い世代が将来を描ける社会モデルを重要視すべき。
柿木図書館の場所を変えないでほしいです。区民集会所は利用が多いなら改築したほうが良いと思います。
築年数が浅く、改築の必要がないのに解体や改築するのは税金の使い道として賛成できない。
保育園と集会施設を一緒にすると、集会施設で会議をする人にはうるさそう。たたき台1と同様に仮設が気になる。
柿の木図書館がそのまま図書館単体として残るのであれば賛成です。
それぞれの場所を変更せずに改築することで、今までの住環境が変わらずに済む。自身にとって利用しやすい環境のため、閉館・場所移動は希望しない。
図書館を移転しない点が良い
この案がいいです
現在の図書館は緑に囲まれた場所にあって、多くの人が愛着を持っているので、このままで建て替えてほしい。
保育園は広い方がいいと思いますので、集会所の造りを工夫すればいいと思います
工事中使用出来ないのが難点。
図書館が現地のまま、というのが良いと思った
施設の老朽化と地理的な理由
この案が一番よいと思う。建て替えがある以上は、仮設園舎の用地や費用が発生するのは仕方がないと思う。それでも今のタイミングで全て建て替えることは、今後の建築費用高騰、建築人件費の高騰を考えると今が一番安い時期だと考える。この案は今までの周辺住居環境が変わらないところも良い点と考える。
折衷案でしょうか。
保育園と集合施設を合築する意図がわからない。
改築期間中の影響が気になる
保育園の仮設が必要になると経費が大きくなるので、たたき台1、2は良いと思えない。
図書館が近くて良いです。
税金の使い方の観点から見れば、築年数が比較的浅い建物まで改築する必要性はないと思います
図書館は現在の土地で改築とのことですが、今の建築基準では同じ面積の建物を建てるのが出来、蔵書数が確保出来るのでしょうか。また、現在は緑地部分が多く、環境が良いといえいいですが、全く利用出来ていないもったいないスペースもあるように思います。緑地も残したい、というご意見もあるとのことですが、木々の老朽化も気になります。
ゆうゆう館の活動が今まで通り続けられないと困る。
こちらの「たたき台2」も柿木図書館の移転は無し、という意味ではあり。
ゆうゆう館として残してほしいです。図書館は「柿ノ木」の地名で現地に残していただくことを希望します。図書館内にコミュニケーションの取れる部屋が欲しいです。
この案が一番良い。保育園と集会施設等を合わせて土地利用を検討できる。個人的には区立保育園の集約を今後検討する必要があると考えたため四宮保育園のような小規模園をあえて大きくする必要はないと考えるため、複合的に保育園ゆうゆう館区民集会所を併設した複合施設を設計し、昼は子の保

育と集会所等の地域の、福祉施設としての役割を果たしていただき、夜間には学生や社会人たちの勉強スペースになるような施設として展開して欲しい。建設費用と今後の維持管理費考えても施設集約は必須であると考えるし理想的な計画と思う
たたき1でよい。
施設の配置が今と変わらない事は長年住んでいる人への大きな配慮になる。またシンボルも大事ではあるが、施設の機能をより優先すべきではないか。子育て世代への施策が奏功してきた杉並区にとって、子供への影響が最も大きい図書館の休館期間が短い事は非常に重要と考える。
賛成します。土地の有効活用が望める。図書館の立地を大切に生かしたい。
保育園や集会施設は住宅街の中にあつたほうが、環境がよく、地域により密着できる点がよいと思います。
全ての施設が新しくなるのは、いいと思う。
現在の柿の木図書館の敷地は緑が多く保育園用地に適しているように感じる。
こちらが一番現実的、同じ場所に同じ施設の改築が一番良いかと思う。ただ集会所がとてもきれいなため、改築するにはとてももったいないようにも思う。
合築することで土地が有効活用できて良いと思う。
合築した場合、使用が減るのではないかと不安である。
図書館が近くて便利、費用が嵩む、評価は○
たたき台1よりはコスト面を考えると現実的。場所が変わらないという点を重視する利用者にとっては、受け入れ易い案だと思われる。現在、集会所とゆうゆう館が別になっているようだが、別になっている意味がよく分からないため、部屋数と部屋のタイプを複数確保すれば、その2つの施設の1つにまとめて良いのではないかとと思われる。
保育園と集会施設が同じ場所であれば、働いている忙しい親世代も子どもの送迎の際に日々のエッセンスとなる催しに出会えることもあるかもしれません。地震など非常時に大人がいることも子ども（保育園）には良いと思います。
同じ建物内に保育園、四宮区民集会所、図書館があれば便利でよい。
集会所と保育園が同じ施設にあるのは、異世代間交流にも繋がりやすく、イベント時にもメリットがおおきいのではないかと考えた。
保育園と集会施設を合築したほうが建築費が安く済むなら良い
全体的に新しくなり、図書館の閉館時間も3年で済む点が良いと思った。
たたき台1との相違は、集会所の機能拡大への期待とコスト増のマイナス面の比較考量のみであり、どちらを採るかは利用者の考え方を最優先して判断すべきだろう。ただし、図書館の解体・新築と絡める必要は全くない。
より利用しやすいルールがある事を望みます
仮設園舎を建てるためにいま植えられている遊び場の木が切られてしまうのが切ない。
図書館の場所が変わらないのでこの案も良い。質素でも一つの大きな建物の中にゆうゆう館と集会所を入れ、ゆとりある空間だと、緊急時の区民の駆込み場所にもできたりして有効活用出来るのでは。
図書館は今のままが良いと思います。
集会機能をまとめることはメリットが高いと思います。ただ複合施設になると決まった場合、運営方法、共有部分のメンテナンスや維持管理をどういった分担にするかなどあらかじめ整理しておくことが大切だと思います。保育課、地域課、高齢者施策課が所管かと思いますが、施設に職員が常駐しない

と思われるので、施設が出来たあとどのように管理していくかも考えてほしいです。出来るまでは皆さん興味がありますが、その後の運営については現場に任せられ、複合施設の取りまとめ課は疲弊しています。
図書館と保育園は現地で残ってほしいと思っています。コストの増大幅がどれくらいになってしまうかという懸念点はあるものの、集会施設も併せて改築し、スペースの有効活用を図る自由度を上げれる余地が高い点を踏まえ、この案が一番望ましいように感じました。ただ、保育園・集会施設をすべて一式で解体改築するのではなく、部分的に改築を行い、保育園の仮設施設が必要ない状況を作れないかと思いました。
最も現実的な案で、保育園と集会施設の合築によってコストも（別々に改築するよりも）抑えられるのでは無いか。また、保育園児と高齢者との交流イベントが維持されるのも良いと思う。
改築対象が増えることで、全体のコストや工期が大きくなるかは気になりました。
集会所と保育園の土地と施設の一体有効活用が良いと思いました。
合築は敷地を広く活用できるという点では良いのかもしれないが、その間休館となり活動が中断されることが予想されることは気になる。
先程の回答にも書きましたが、区民集会所を利用することがないため、全てを改築する必要性については、明言いたしかねます。利用者の方が古さやそれにより不便を感じているのであれば、全て合わせて改築するのが妥当なのではないでしょうか。
保育園と集会施設を合築するメリットがよくわからない
仮設はあまり良くないと思います
利用者が今までの場所で活動できる。
改善点として、館内の空調設備が、部屋ごとに調整できないこと。
保育園が移転しないのであれば良いかと思います。
一時の費用はかさむが有効に土地を生かせる。図書館の立地は未永く生かしたい。
保育園と集会施設は別の方がいい。そもそも施設利用の目的が異なりすぎる、対象者が異なるのを一箇所に集約してそれによる新規問題が起きかねない
図書館が綺麗になること
どの施設も古いので改築してほしいのと図書館は今の場所の方が周りに自然があつてなごみます。
保育園は独立したほうが音の問題ないので良いのでは。
近くにTBC上井草テラスがあると聞いています。使用出来ないものでしょうか。
合築することで、施設が有効活用できるのであれば良いと思います。
集会施設で、音楽系のイベントなどする時、子どもの声が気になると困るので、保育園と集会施設は一緒ではない方がいいと思います。
図書館が現地改築なので良い また子供が減っている現状から、集会施設が先々広く使えるのはいいと思った(災害時の避難場所など?)
柿の木図書館は現在の環境(周辺に緑が多い、閑静な住宅街)がとても過ごしやすいので現地改築が望ましい。施設は趣もありますが、かなり古くベビーカーや車椅子で来館した際にはエレベーターがないのが不便なのでそのあたりも含めぜひ建て替えをしてほしい。今ある木や植物(アンネのバラ等)は多く残してほしい。
気になった点：とくになし。
全部改築するのは、予算的に無駄だと思います。

現在保育園を利用している方が線路を渡るのは不便を感じ気になります
現利用者への影響が少ないと思うが保育園は独立しているほうがセキュリティ上安心と思う。
保育士、保育園児が仮設に一時的に移動しなければいけないのは大変だと思いました。
今の位置にこだわらなくてもよいのではと思います。複数施設を改築するメリットは、順番に工事を行えることなので、であればたき台3の保育園を仮設ではなく、改築後移転できるのがスムーズでよいと思いました。
保育園と集会所は別にするべき。保育園のプライバシーや感染症の観点から別の方がいい。
この案に賛成です。多機能性をもたせた集会施設（保育園、ゆうゆう館）が合理的だと思う。
建設に時間が掛かるのではないかと思います。
良いと思った点：保育園・ゆうゆう館、図書館を現地改築するため、配置が変わらないことが利用する周辺住民にとって変化の負担が少ない。また地域の子どもや大人の居場所や交流場所となる、図書館、ゆうゆう館・区民集会所がそれぞれあることによって、利用者が利用する施設を選ぶことができることも良い点だと思う。さらにこの案だと、保育園利用者は、在園中および卒園後に保育園に立ち寄りやすきかけが生まれ、入園前の世代にとっても保育園を身近に感じることができると、自然と地域住民同士のコミュニケーションや交流が生まれると思う。保育園に通っていた子にとっては、卒園後に友達と遊んだり、勉強したりできる場所がなじみのある施設となることから、家庭と学校とは別の立ち寄りやすいサードプレイスのような居場所になると思う。
各施設の立地を変えないため、地域住民の生活影響が小さい。また、各施設の中で最も利用者数が多い図書館の停止期間が3年に抑えられることはメリットが大きい
利用者にとっては点在している方が通うのには良いので、現在地での改築希望。
園児数が減少している定員割で園庭は少し狭くしても良いのでは。
3つの案の中で一番良いと思う。高齢者は軽い運動をすることが奨励されている時代だから。合理的な空間利用を考えることで、運動スペースを充実できる。グループ活動は高齢者にとっても重要。高齢者＝囲碁・お茶のみの時代ではない。
柿の木図書館は古すぎて今の場所で改築してほしい。
集会場は一部分しか利用しないので改築しなくて良い
1が良い
図書館をここに残してほしい
図書館の場所が変わらないので、使い勝手が変わらず良い
いろいろな人が出入りする区民集会所を子どもたちが過ごす保育園と合築するのは良くないと思う。もし庭ができる等のメリットがあるのであれば悪くはないかもしれないが、その場合はセキュリティ面を厳しくすべき。
図書館の移転がない
役割の変更がなく現地改修がよい
図書館移設しないので可、ただしバリアフリー化(2Fへの車いす対応)必須
基本的に改築する必要は無いと考える。
集会所と一緒にすると、ゆうゆう館での活動で部屋を取りづらくなる心配がある。施設が新しくなれば、新しく外から利用者も増える。高齢者はうまくその中に共存できるか。予約の仕方などIT化が進むとあきらめる人も出てくる。あきらめざるを得ない人が出てくる。
改築の費用対効果に疑問。

施設を集約する考え方自体は合理的だと感じました。
図書館が現在地のまま残ることもとても良いと思います。閉館期間が短めになるのもとても大きいです
柿の木図書館は移転しないでほしい。
3 施設改築は非現実的・たたき台2は、保育園と集会所の合築と、図書館の現地改築では？
気になる まだ改築期限の来ていない施設を改築する必要があるのか？
代替え施設がなくなるのではないのでしょうか
利用している図書館場所不変で賛成
図書館は、がっちり建てられて地震にも耐えられそうなので、改築はもったいないように思う。但し、トイレはリフォームしてほしい。
老朽化していないものまで改築する必要はない
図書館にエレベーターがないのは不便
柿木図書館は緑の景観も含めて今の場所に残して欲しいため、賛成致します。
2つの施設を合わせることでプラスの効果より、トラブルのほうが多いと思いました。
予算にもよるが、おそらくかなりの時間とお金が掛かると思われます。
古い建物なので改築が必要だと思います。集会所の有効利用も重要だと思います。
四宮保育園の仮施設が線路の北側の公園になってしまうことには反対します。いくら事前に告知した上で募集すると言っても、登園者の多くは線路南側の住居であると推察されます。通勤時の踏切の問題を考えますと登園時刻への大きな支障がでると思います。保護者にとって朝の時間はとても貴重です。
柿木図書館が移転しなければこちらの案で構いません
公的施設が改築するというのは、予算の目処などある程度年数が経たないと難しい気がするため、同時期に全て改築出来るのであればそれが良いと思った。図書館は少し落ち着いたエリアにあって良いと思う。
保育園と集会場が一緒だと騒音が気になる
保育園は、区内のこどもの数によってニーズも変わり、需要供給バランスの変動が予想される。保育園とゆうゆう館、集会施設を合築するのは合理的。保育園とゆうゆう館をひとつの場所に併せ持つのは、お互いの利点も多いと思う。
3案が良い。
仮設保育園は不要。一定期間休園として欲しい。
施設の場所が大きく変化しないのが今までどおりに利用しやすそうだと感じた。複合する事でより幅広い年代に利用しやすそうだと感じたが、工費が一番かかる所が気になった。
保育園と集会所が同じ敷地は、不審者対策が難しいと思う
反対である。保育園の防犯上の理由から。
たたき台1よりは2の方が良いと思う。たたき台1でも述べたが、仮設園舎は経費の点で問題がある。区民集会所と保育園・ゆうゆう館の敷地がまとまることで、土地の有効活用が図られる。広い敷地面積を活用した集会施設に様々な可能性が生まれると思う。工事期間中の施設利用中止はやむを得ないと思う。
配置が変わらないことと、図書館の休館期間が3年と短いことが良いと思った。
費用がかさむので反対です。

良い 一緒に改築すれば、費用が効率的に使える。
現在の場所から変更がなく、混乱しないことに加えて、集会施設も合わせて改築でき、効率的である
良い点は3案の中で、最もいい案だと思います。
少子化が進む中、広いスペースを持つ保育園と集合施設の合築よりは、たたき台3の方が良い。
柿の木図書館で育ち、図書館司書の資格を取得するきっかけになったので、今後も図書館として地域の老若男女が静かに本に親しみ、学びを深める場であって欲しいと願う。
図書館は今の立地で、十分に機能を果たしていると思うが、目に見えて古い建物ではあるので改築に賛成。あの場所にあることが、近隣住民に長年受け入れられているので、あえて移転する必要はないと思う。
保育園はなるべく、駅に近い場所に開設したほうが、登園降園に便利で、子育て世帯は楽だと思います。
たたき台2に賛成です。公共の場を場所変更すると多数の住民が混乱する。
新たなコーナーや空間が増えるのであればより使用するようになると思う
現状、四宮保育園と区民集会所は別棟だが、今後の少子高齢化を考えると合築のほうが好ましい。ただ四宮保育園への不審者侵入が安易になるのでは？と不安がある。なにかしら対策のある合築なら良い。また現地改築により、たたき台1同様に、小・中学生の登下校時の緊急時に駆け込みやすい
施設の配置が変わらない点がいいと思う。
それぞれ役割をもった施設であり、地元に根付いている施設です。利用者としても近隣住人の方にとっても、環境が大きく変わることがなく維持できるのでよいと思います。
古い集会所を新しくするのは利用者としてありがたいです。
特に場所を移転する必要性を感じない。
集会所と保育園を一緒にするのは、不特定多数の利用が見込まれ、保育園の防犯上好ましくない。
保育園に他の施設と統合する必要は無いと思います。
集会施設を改築しないメリットと合築するメリットについてまだわからない点が多いので、たたき台1とたたき台2のどちらが良いかはまだ何とも言えない。図書館についての考え方は1と同じ
保育園と集会所を一気に改装した方が、集会所の役割のアップデートもできると思います。
今までの区民意見を参考にして下さい
コストがかかり過ぎるとおもいます。
柿の木図書館の場所が変わらない点が良い。
図書館が駅から遠い。
図書館は今の場所がよい、緑があり、認知されているから。保育園と集会所を一か所にするのがよい。保育園も集会施設を使えるかもしれないから。
保育園の園庭が現在よりも小さくなること、仮設園舎が線路より北側になることが気になる。
図書館は綺麗になると子供も大人も使用頻度が上がると思います。
集会所と保育園の一体化は、人が集う感もあり良いと思うが、セキュリティだけ丁寧にしてほしい
賛成です。図書館はそのまの場所が良いです。
保育園利用者にとっても、集会施設が身近になり、利用しやすくなって良いと思います。図書館は大きな樹木や緑の多い現在の場所で改築してほしいと思います。
費用の面がクリアならこの案でも良いと思う

築年数が比較的浅い区民集会所を、近隣施設の建て替えのタイミングだからという理由で改築することはコスト面から考えるとあまり適当ではないと思った。
予算は足りているか
場所を入れ替えず現地改築が良いと思います。
3案の中でコストが最も高くなるが、最終的な「成果」の完成度が最も高くなる。仮設保育園舎の建設が大きなコスト要因であるなら、一時的な井草児童館の活用や民間を含む他の保育園との協力を検討してみることも必要と思う。
費用が嵩みます。使える建物はそのまま使うべきです。
保育園は仮設でなく、働く保護者の利便性を考えて駅近くの場所に本建設の方が良いと思う。集会施設も少しでも駅から近い方が杉並区中から利用したい人が集まれると思う。単独で広々と、沢山の目的で使えるように和室や会議室、ダンス系に使える鏡張りの部屋、可動式のバレエ用バーなど、沢山の目的の広めの部屋や少人数に使えるような小さなお部屋などのラインナップがあれば活用したい団体は沢山居ます
図書館の停止が長すぎる。再検討願う
合築することの利用者メリット、運営管理のメリットが不明と感じます。
柿の木図書館は子供の頃から利用していた思い出の施設ですが、改築は必要です。他の施設も同様です、よろしくお願いいたします。
図書館の場所が変わらない点が良いと思った。
このたたき台が最もいいと思います
図書館をきれいに、規模も拡大し、もっと充実したものにして欲しい。
一時的ではあるが保育園が駅から近くなり良い
合築するなら保育園と集会施設が一緒の方がしっくりする。
保育園と集会施設を合築し土地を有効に活用できるため、最もコストがかかるが、最も良いものが出て来ると思う。
長期的視点で全ての施設が使いやすくなるが、コストがかかる

問7 たたき台3（保育園と図書館の配置を入れ替え、図書館と集会施設を合築する案）について、良いと思った点や気になった点があればご記入ください。

図書館と、早朝でも静かな環境の調和に魅力を感じてこの地域に住んでいるため、保育園と図書館の入れ替えには反対。集会施設と図書館はそれぞれ目的が異なることや、1カ所にまとめるより色々な場所に立ち寄れる場がある方が、防犯や地域交流ができて良いと思う。
図書館利用の6年間休止は受け入れ難し
保育園はできる限り交通面を考え駅に近いところが望ましい。
現在の保育園は道路が狭く飛び出しなど危なかったり狭い道にお迎えの車が路駐して通れなくなる。現図書館の道の方が広く車が止まっても危なくなさそうなので入れ換えたら良いと思う。
柿の木図書館が移転されるのであれば立地的な利便性悪くなるので、反対です。また、保育園は駅から近い方が働く方にも便利で、現在の柿の木図書館の場所に移転する必要性がないと思い、反対です。
あまり良いと思わない。保育園は通勤前に預けやすい駅近くがいいと思う。図書館は今の場所が小学校に近く子供だけでも行かせやすい。保育園の場所が変わると生活にとっても影響があると思う。
保育園も綺麗になったり改善点があれば子供の転園を考えるかもしれない
柿の木図書館周辺のように、落ち着いた環境の中で過ごせる点は魅力的だと感じました。
場所が変わるとおっくうになる。休館が6年は長すぎてさびしい。
図書館の蔵書のスペースが狭くなるのではという心配があります。6年の休館は長すぎる。代替場所（本の受取・返却ができる場所）の確保が必要。
入れ替えるメリットがわかりません。
高いので近いほうが良いと思います。
集会所と合体するのはいいが、よく使う図書館の場所が変わってしまうのは、不便になります。
個人的には図書館が近くなるのでうれしい。ただ図書館が狭くなったりすると、読書スペースなどが少なくなるという懸念はある。集会施設も現状と同じ部屋数や広さが維持又は増床できるのであれば良いと思う。
集中合理化が良いと思います
保育園が駅から遠くなりよくないと思う
図書館が6年も使えないのは不便。森の中にあるような今の柿木図書館が好き。
また、図書館の閉館期間が6年間と長いことが気になりました。柿木図書館では、四宮小学校の1年性が入学後、図書館で図書バックをもらい、図書館の利用方法を学ぶ取り組みが行われています。また小学校は図書館と連携した学習を行っています。閉館期間6年間に偶然当たってしまった児童（おそらく100名程度）への対応や、保護者への説明、学校との調整なども考慮して欲しいと思いました。この図書館の閉館期間に起因する、学校との連携への影響は、あまり取り上げられていないと思いますので、たたき台のポイントの資料に加筆するなどし、案を考える上での情報として区民へ共有して欲しいです。
良い点・図書館と集会施設、または、保育園と集会施設との合築は賛成
現在図書館があるところに保育園となると、園庭等の確保や安全面から多くの木や植物を減らさざるを得なくなるのではないかと思います。せっかく今ある緑を減らしてしまうことは悲しいのでどの施設も現地のまま改築計画が進んでいくことを望みます。
保育所は駅近くの方が利便性が良いと思います

今川図書館は集会施設と図書館が一体となっており、利便性が高いので、この案が良いと思う
図書館の位置付けを明確にしていくためにはたたき台3が望ましい。
変化が大き過ぎて混乱が心配。
場所の入れ替えが気になる。特に図書館は、今の環境が良い。
イベントは図書館からうるさく感じるかもしれない。
地域の人が慣れ親しんでいる保育園、図書館の位置関係をあえて入れ替える必要性を感じられなかった。配置を変更することで、図書館の休館期間が6年間と長期化するため、なおさら理解が及ばなかった。静かな環境が求められる図書館と賑やかな集会施設の複合化は適さないと思った。
個人的には四宮保育園を大きくする必要性はあまりない（園庭等の機能を考えるのならば他の民間や他の立地の区立園の方が優秀なので。）と考えるので、柿の木図書館の土地で中途半端な広さの案を決定する必要はない
図書館が長期間使用できなくなる案は賛成しかねる
区民集会所が使えない期間が発生する
今以上遠くならないほうが良い
図書館が駅に近くなる事や集会施設と一緒に、コンサートやイベントなどに参加しやすくなるなどがあれば良いのですが、6年閉館して利用できないのは長いと思います。
地域の方が図書館にと譲渡した土地、柿ノ木町の名を持つこの場所で図書館の改修をお願いします。
柿の木図書館の場所が変わってしまう点が気になる。
保育園を仮設ではなく、改築後移転できるのがスムーズでよいと思いました。周りが緑地？なのも保育園が位置するのによい環境かも。保育園は園庭の広さは確保してほしいです。四宮保育園の良さは園庭が広いことなので、子ども達に元気に遊んでほしい！保育園が集会所と併設しているより、図書館と集会所が併設している方が、活用方法が広がりそうとも感じました。柿の木図書館はエレベーターがなかったけど、新しい図書館はエレベーターがあると、子連れベビーカーの人が使いやすくて嬉しいかと思います。
図書館とゆうゆう館がいっしょだったら便利になります。バリアフリー希望。
入れ替えは望ましくない
図書館は自分も子どももよく利用するため、6年の休館は長い。でもより西武線駅に、近くなるのはよい。
中学生の利便性を考えると図書館が少し遠くなるのは不便かと感じる反面、保育園が現図書館の方に来ると交通の利便性（バス停など）が上がり、入園希望も増え、保護者の送迎も負担が減るのではないかと感じた。
図書館が駅に近いほうが良いと思うのでこの案に賛成です。また集合施設と図書館は親和性が高いので近いほうが良いと思います。
これらの土地との相互活用等、考え得る代替案（入れ替え先）はいろいろあると思いますが、かなり限定的な選択肢の中から検討されているように見受けられます。縦割り行政の弊害をなくすべく、幅広い部署を巻き込んで、区として最適な配置を抜本から考えるべきかと思いますが、いかがでしょうか？
どちらも利用者は今の場所にあるから利用していると思うので、場所は変えないほうがよいと思いました。
図書館を利用している方としては、この案は駄目です。
図書館は独立していたほうが好ましい

気になった点：施設の有効利用が図れる一方で、利用者にとってはこれまでの複数の施設から利用する施設を選べたが、今後は合築した施設しか選ぶことができなくなる。また、保育園と図書館の配置が入れ替わることにより、次の課題があると思う。現柿木図書館の場所は生産緑地に囲まれており、周辺道路も広いことから比較的開かれた場所である。今の場所に図書館があることで、緑に囲まれた現在の図書館の景観を形成している。この雰囲気の良いと考える地域住民・図書館利用者が多く、移転させることには大きなハードルがあると思う。一方で、現四宮保育園の場所は周辺が住宅地であり、南側の道路は生活道路であり、北側道路からも狭い敷地を通ってのアクセスとなることから、視認性が低い場所と感ずるため、地域のシンボリックな図書館を設置する場所に適しているのか地域との合意形成が必要だと思う。
現図書館の場所は、角地で周辺は地主さんの緑地であり、割と開かれた場所です。周辺には環八通り、早稲田通りもあり、アクセス性も良いです。周辺の緑との相乗効果で図書館の付加価値は向上しています。この場所は不特定多数の利用者をターゲットとした施設に適していると思われ、土地の有効利用の観点から考えると保育園の設置には適さないと思いました。
図書館の休館期間が6年という点。他案の2倍は長いと思う。
図書館は、現在散歩などのついでに利用しやすい静かな場所にあるので、場所は、変わらない方が良いでしょう。
体操教室は多少の音が出ますので、その点で運動の内容に制限が出ないようにお願いしたいと思います。
全ての世代から利用が見込まれる図書館が6年もの長期間に渡り休館となる事は、非常に好ましくない内容である。更に土地を無駄遣いしている訳では無いとの意見もあるが、あれほどの土地を他案より更に3年間利用出来ない事による機会損失、追加で発生する倉庫費用を考慮すれば、たたき台1や2とのコスト差は資料ほど大きくならないはずである。
築年数が比較的浅いからとツギハギのような事をやってもトータルで無駄が出ると思うので、図書館と集会施設が一つになることが利便性も考えて良いと思う。
改築や合築には賛成だが、長らく近隣住民に受け入れられている保育園と図書館の今の立地をわざわざ入れ替える必要性を感じられない。
保育園仮設場所がありません。こちらの案は図書館を改築した後移転し、わりとすぐに利用できると思うことでしょうか。であるとしたら良案と感じます。
図書館の主たる機能は、人々が落ち着いた環境で学習したり教養を深めたり、また社会的な情報を得たりすることにあると思います。イベント的な集客はこのことに大きく反すると思います。また、保育園は子どもが伸びやかに安心して活動し、他者や集団とかかわりにおいて心を育んで行ける機能があります。大声や泣き声、歌声、楽器の演奏などを許容する環境であることが求められます。他の施設との併合はそれぞれの機能を考えると無理があり、双方の利用に支障や躊躇が生まれると思います。
図書館と集会施設が合築すると気軽に集まれる場所になりそうで良いと思った。
図書館と集会施設は同じ建物にあっても良い。
配置を変えたりするのは反対です。図書館の位置は変えないで欲しい。
図書館は家から近くとても便利に使っているので、場所を変えてほしくない
保育園の周りの人達の理解を得ながら、園児が伸び伸びとできる事が望ましい

図書館周辺の自然を保育園に活かせるのは良い。一度施設のリセットがあってもいいと思う。コストも一番かからない。図書館の休館期間が長いことだけが残念。
保育園が仮設でない点は良い。施設の場所が変わるので、近隣住民の方の理解が得られるかが気になる。
反対です。共働きで限られた時間で送り迎えを行っているので移転されるのは困ります。駅に近くなり利便性が上がるなら理解できますが。逆に図書館の配置になんの意味があるのか理解できません。
図書館（静かに過ごす場所）と集会施設（演劇の練習に使われている時に通りかかったことがあります）の併設について気になります。仮設がない分、取り壊し費を施設に使うか、区（もしくはこの近隣）に役立つ何かに使うのもいいかも。
場所は変わらないほうが良い。
今より図書館が近くなるので行きやすくなる所がいいなと思いました。
図書館、保育園、集会施設と、既存の公共施設は、その場所にあるということに意義があると思うので移転は反対します。
配置が変わることで、近隣住民への負担・影響が大きい点がきになりました。現保育園の場所は住宅地のど真ん中です。不特定多数の利用者が訪れ、にぎわう場所である図書館に、さらに集会所を併設することで相乗効果を期待する施設を設置するには適していないと思いました。
困る方向けに、井草地域区民センターや四宮区民集会所で本の貸し出しも検討してほしい。
図書館は単体のままで、また現地のまま場所を変えないで頂きたいです
子どもが楽しめる施設を作れる案だと思う。子どもが高齢の人と交流しやすくなるのが良いと思う。
図書館の閉館期間が、6年は長すぎる。が、1,2案にある仮設幼稚園方式を利用し、同時に建設すれば3年で済むのではないかと。同時に改築が予算編成上不可能なのでしょうか？
この案が一番良いと思う。保育園の環境がベスト。保護者の送り迎えも zone30 で安全になる。踏切を渡る仮設保育園が要らない。図書館の停止期間が長いですが、皆我慢しましょう。図書館が駅から近くなるので利用者の便が良くなると思います。集会場も3年使えなくなるのは辛い我慢ですね。
あまり意味のない入れ替えの様に思えます。
図書館が狭くなると困る
図書館と集会施設が一つになるより、図書館は保育園と一つになるほうが、子供の将来には役立ちます。また、図書館は、バス停や駅から徒歩圏内のほうが、より多くの人が使いやすいと思います。なので、図書館は今の場所が良いです。
図書館が遠くなるので不便です。利用しなくなります。
6年もの間図書館が休館するのは困るが、図書館と集会施設との合築は期待できる。未来に向けて一番有効に使えるのでは。
図書館が駅に近くなるので便利だと思う
抜本的な見直しができる。駅から遠くなると保育所利用者に不便が生じる。
柿の木図書館の唯一無二の良さは、緑を見ながら、リラックして、本を楽しめる点である。角川ミュージアムのような見せる為の図書館なんてうんざりする。これは、周辺の植木坪を守ってくれている方々の力である。この地を動かさないで欲しい。豆柿の木のあるこの地、涼しい環境で就学前の子供やお年寄りが静かに本と向き合えるこの地を動かさないで下さい！
説明を伺ってこの案が良いと思った。図書館と集会施設の相性が良いから。ただし、6年間の休館は利用者としては困るので、予約本の受け取りと返却場所は設けてほしい。

図書館が駅から近くなって良いとあったが、保育園こそ駅近の方が良いのでは。
利用している図書館が遠くなるのが困る。子供たちと一緒にいるので。
保育園の動線を考えて選んだ人には予定が変わってしまうから
施設を合併することには反対である。理由は、施設の性質があやふやになるからである。
図書館はいまの場所がよいので、反対です。
図書館が移転しても図書館のまわりの木は倒さないでほしい。広い園庭は貴重。ぜひ実現してほしい。
休館が長くなって困る方もいらっしゃると思いますが、未来への投資・地域活性化を図るという意味で、それはやむなしと感じます。困る方への代替案をしっかりと用意した上で実現できると良いですね。
こちらで費用が嵩みます。使える建物はそのまま使うべきです。
場所を変えることのメリットが何もなく、これまで使っていた方々にとってデメリットでしかありません。微小コストを削ることによって生じる問題が大きすぎます。
現位置からの移転は現利用者の不便につながる可能性があり、慎重な検討が必要であると感じます。当案に反対します。
集会場と図書館の新築、図書館の更地化と保育園の新築移転など順繰りに移転することで機能低下が最小限に保たれる。
柿木図書館の雰囲気（緑に囲まれている）は、図書館の内容とともに、長年にわたって利用者を和ませて癒しを与えてくれています。今の場所で建て替えていただきたいです。
設置場所が最も変わる案であり、図書館の近さを理由に住宅を購入した私のような市民の選択とすでに発生している便益を最も侵害する一方で、その補填がない最も避けるべき案です。
図書館は常時静かで落ち着いた環境を提供できるように、単独で存在してほしい。また、ゆうゆう館と保育園が離れると、交流が減るのではと懸念する。
高円寺図書館の様にコミュニティふらっとを併設した図書館ができれば、この地域の住民の過ごし方は大きく変わる可能性がある。新たな交流を促す可能性が高く大いに期待できる。図書館が北側に移動することで、「図書館が遠くなった」と感じる人もいるだろうが、「近くて便利になった」と感じる人もいるだろうから、問題ではない。休館期間が6年あっても、60年に一度の改築だ。地域発展のチャンスを見逃すべきではない。特に西武線の北側の人は図書館が近くなって喜ぶのでは？移転しても、他の図書館のある場所とのバランスを大きく崩すとも思えない。
よく分かりません。
移転すると不便になるので、出来れば避けて欲しいです。
図書館が移転する事は望まない
図書館や集会施設は、不特定多数の利用があり、保育園は、安全・安心の観点から分離すべきだと思います。建て替え費用は高額になりそうですが。
図書館と保育園のように利用頻度の高い施設は場所を変えない方がいいのでは
保育園は集会施設とは離して独立した方がよいように思うことと、柿の木図書館の場所は保育園としてよいように思う。かたや図書館は多少駅に近い方がよいかな
図書館は、独立した建物のほうが騒がしくなくてよい。
図書館の閉館期間が長くなるのであまり希望しません。
気になる点・配置を入れ替える利点は不明瞭。利点は少ないのでは？

柿木図書館の休館期間がたたき台3では6年と、他のたたき台よりも長いため、図書サービスコーナーを臨時的に作ってほしい。
図書館は静かな環境が良い
図書館の閉館期間が6年間というのは長すぎます。
図書館が拡大するのであれば嬉しい
保育園のスペース（延床面積の増加）が確保できるかもしれないが、今後少子化になりそれほどスペースを必要としないのでは。現在の柿木図書館の位置を移動させることは反対。現柿木図書館の場所は「柿木図書館あつての住居環境」といえる。図書館の休館期間が6年と長くなることも反対。
図書館の利便性が損なわれる。
できれば柿木図書館の場所は変えないで欲しいです
図書館が近くなるのでありがたい
仮設保育園舎を不要とする方法を再検討してほしい。
図書館と集会施設は全く別物に思えるので、こちらは賛同しかねます。
家が柿の木図書館側なのと、保育園にすでに通わせているため、図書館は移動しないでもらえるとうれしいなと思いました。
図書館と施設である程度の広さが確保できるのが良い。
保育園が近くなるから嬉しい。
予算がかかりそう。
入れ替えは必要ないと思います。
図書館が配置換えになることに反対。
工事に伴う休館中の期間の長さ、活動が継続できないと予想されることが気になる。
家が近くなるため、子供たちが図書館を利用しやすくなる。児童館からも近いのも良い。
集会施設を新しくする必要はないと思います
図書館の移転に異議あり。三方を緑に囲まれた立地は保育園よりも図書館に相応しい。柿木の町名を残すべく、地域の方から図書館用地として提供された土地を、保育園に転用するのは筋が通らない。
図書館と集会施設を同じ建物にするのは少し困る。静かな環境を求めて図書館に行くので、騒がしくなるのではないかと懸念する。
場所を入れ替えずそれぞれ現地改築が良いと思います。それぞれが現在の場所のまま改築が良いと思います。
図書館＋ゆうゆう館は、年齢を問わず 誰もが自然に豊かな時を、簡単に入れられる共通の静かな場所である。
図書館はゆっくり本を読みたいので複合施設は反対。
個人的には、たたき台3が一番良いと思う。第一に保育園がスムーズに移行できる(仮設の必要がない)ことで関係者のメリットが大きい。今川図書館(ゆうゆう館と併設)、方南図書館(保育園と併設)を見ると複合施設としてどれだけ相互利用されているのか疑問である(限られた人だけの利用のため)。むしろ図書館は、集会施設と一緒になった方が利用者目線でみると相性が良いように思われる。柿木図書館の6年間休館を機に、かつて杉並区にもあった移動図書館を復活させてほしい。プラス最低限、窓口を設けて予約本の受け取りを可能にしてほしい。個人的には、図書館の休館に関係なく、区内の電車各駅に本の返却ポストがあると良いとかなり昔から思っている(区内の図書館は、住宅地の中にありどこも駅から遠いので)

自宅からは、現在の柿木図書館の場所がとても行きやすいので、図書館の移転には反対です。
気になる点は配置の入れ替えと図書館が利用出来ない期間が長期間になる点。四宮小学校でしている読書や調べ学習を指導が、子供たちの図書館利用に繋がっていると感じているのに使用不可期間が長いと未来の利用者がいなくなる恐れがある。学校図書館は利用時間も短く、休日利用も出来ない。小学校在籍期間に図書館の利用を覚える機会が失われかねない。図書館と集会施設が同じだと落ち着いて図書館で過ごせない。
図書館の休館が6年は長すぎるので反対。
集会施設はイベントを実施することもあるため、静かな環境であってほしい図書館とはあわないと思う。
図書館のフリースペースが少ないので、区民集会所と共有出来るように移転するのが良いと思う。
保育園が駅から遠くなるのは、利用している父母に優しくない
移転すると今まで柿の木図書館を使っている人が不便になる。
使い慣れた施設の場所が変わってしまうのは、個人的には利用しづらくなるので、配置の入れ替えがないほうがいいです。
カフェとかも併設されてると嬉しいです。
保育園が駅から遠く不便だと思います。図書館の移設も「柿ノ木」として残したいため賛成できません。
場所を変えるのはやめてほしいです。利用しづらくなるし、何の為に??と思います。
合築すれば余った場所は他の施設など建てて有効に使い道があると思います。
図書館が遠くなって不便、改悪の極み
図書館と集会施設が併設されているとカフェ利用が共通できると思う。
すぐ近くに図書館があるということはとても便利ですし、本を読む機会が増えるので場所は変わって欲しくないです。
図書館が近くなって助かる。この先何十年も運営されるものなので、休館期間が3年長くなることはそれほど気にしなくてもよいと思う。費用が1番安いのがよい。
今までの区民意見を参考にして下さい
6年休館となるなら窓口を作ってほしいです。上井草は「なにもない」との声があります。地域の拠点となってほしいです。
図書館が行っているイベントなどを集会施設で行えるようになると良いと思います。
一番合理的で、利用者に負担が無くて良い案だと思います。
図書館の場所は移動しないでほしい。
図書館の休館期間が6年と長くなるが、近隣に下井草図書館や今川図書館、西荻図書館等があり、徒歩や自転車圏内なので問題ない考える。
保育園と図書館の場所の入れ替えがあり、図書館の利用停止が6年に及ぶのはマイナス
図書館移設され保育園になるのは反対です
図書館の場所が変更になるので好ましくない
家から近くなるから。
駅から近いと使いやすいと感じる人がより増えると考えた為

配置の入れ替えは反対。図書館は憩いの場として、年齢問わず利用者が多い。そのため、通りに面して目立つところにあることで、子供の見守りなど、防犯の意味でも有効的な使い方ができるのではないかと思います
図書館と集会施設が一緒になるメリットがあり保育園は独立しているほうがセキュリティ上安心だと思う。
入れ替えは保育園に通う方達にとっては困るのではないのでしょうか？移動時間含めて1日のルーティン、仕事に従事できる時間が決まるので。
良いと思った点：図書館と集会施設の合築により、地域の活動場所から図書館機能の集積ができとても居心地の良い施設ができると思う。施設を合築することにより、それぞれの施設の利用者を1か所に集めることができるため、施設の有効利用が図れ、地域の交流が生まれると思う。
柿の木図書館も週2・3回利用していますが、別の場所に移動するというのと、6年間利用できないというのが問題だと思います。
図書館と集会施設を合築する事は賛成です。賑やかな施設になると思います。今の図書館の場所では不可能なんではないでしょうか。今川図書館の賑わいを実現できたら最高です。
入れ替えは現在保育園が近いのに遠くなったなどますます働く親の負担が増える。集会施設と図書館を合築は理解できるが保育園と図書館の入替は支障が出る人が多く出ると思う
保育園が休園することなく、子ども優先で良い案だと思う
図書館は調べ物、学習の場として独立した機能を発揮すべきだと思います。
今後は、図書施設と集会場は同じ場所にあった方が利便性と運営効率化が可能である
保育園と小学校が近くなり、図書館も駅近になるので、この案が1番良いと思います。
柿の木図書館の場所の変更、集会場との合併は反対です。
図書館の休館期間があまりにも長すぎる。加えて今の環境から移すことのマイナス面が多い。
すぎのき生活園が建て替えとなり、上井草駅近くに仮移転されると伺っています。
図書館と集会施設が同じ場所の方が使いやすいように思った また保育園と小学校が近いメリットもあるかもしれない
図書館はいまの場所に残してほしい。自然豊かな静かな環境にあってこそその図書館。
図書館の静かな空間が好きです。集会施設と一緒にする必要はないかと思います。
周辺環境を考えると保育園周辺は住宅街なので図書館は移転しないほうが良いと思います。
保育園の移転が一度で済むのが良いと思った点です。個人的には図書館が駅から自宅からも近くなるので急いで利用したいときに助かるかもしれません。
静かであるべき図書館と、賑やかであるべき集会施設とを一体化することに強い違和感がある。
図書館を利用しているので、線路を渡っての利用は不便です。
図書館は、今の場所が良かった。緑に囲まれているし、今、通っている人が引き続き通いやすいと思うから。お年寄りで場所が変わることにより、足が遠のく事が起きるのはもったいないと思った。
コミュニティふらっとを整備していきたいとの区の方の方向性が感じられます。集会所や図書館が一体化され、利用しやすくなりそうです。保育園が広くなって安全面を含めて良いと思います。図書館の休館が6年とは長いと思いました。その間既存の職員をどう配置するか、6年後に再配置出来るのかなど心配なことが多いです。

図書館がある場所に保育園をとのたたき台3は、図書館の近隣住民へのアンケートや意見、考えがとても大切になってくと思う。近隣住民の理解が大変重要に思う。
気になった点は入れ替えずに、今のままの立地の方が、それぞれの利便性に即しているためいいです。
図書館の位置は今のままが良い
図書館と集会施設が一緒なのが便利だと思いました。保育園は単独の方が不審者対策もしやすいと思います。
よく利用する図書館の休園期間が長いので、影響対象者が多く、支障が大きく感じる。
図書館の休館期間が長すぎる。ゆうゆう館と保育園が離れてしまう。
現図書館の場所は周りに樹木も多く、保育園の環境に向いていると思う
柿木図書館は緑の景観も含めて今の場所に残して欲しいため、反対致します。
保育園が環八や早稲田通りの車通りの多めな道路に近いので、園児の健康状態が気になる
図書館が遠くなり、車いすで来館できない、絶対不可
保育園が独立して移転改築も立地的に良さそうです。図書館集会施設が合わさるのもしっくりきます。
図書館を家族でかなり利用していて便利なので、出来れば配置を変えないで欲しい
現状の保育園・集会施設が抱えた課題解決のために図書館の更新を巻き込んで区民全体に税金の無駄遣い、近隣地域に無用の混乱を招く恐れが濃厚。なぜこの案が、環境重視・コスパ重視・建築費高騰と物資不足の時代を迎えている今、図書館の大規模改修を差し置いてたたき台として浮上してくるのか。関係者のセンスを疑ってしまう。
反対である。緑の多い現状の図書館の位置に慣れ親しんでいるから。
保育園を配置換えすると利用者が大変だと思う。
今でも広い保育園がもっと広がる。一方、図書館や集会室は今よりせまくなるのではないか。
配置を入れ替えると、これまでの利用者にとってかなり場所が遠くなり、利用しづらいと思います。
図書館の移転は反対です。
入れ替えるメリットが不明。
入れ替えるメリットは何かありますか？駐輪場が広がるならそれも良いと思います。
立地の変更は避けるべき
四ノ宮ゆうゆう館を利用されるお年寄りはとても多いので、館内へのスロープのない平坦な集会所をゆうゆう館にして集会所と図書館を併合は出来ないのでしょうか？
保育園の場所が変わると、（他の案に比して）利用者のみならず、周辺住民への影響が大きいと考える。
強く反対する。現地改築が可能であるのに、配置を入れ替えるのは周辺住民の地域環境や不動産価値に影響を与える。たたき台1,2より遥かに住民への負担が大きい。木の伐採の数については、考慮する必要は無いと思う。植物は寿命があるものであり、妙正寺公園のように立派な木でも倒木の恐れから伐採になる可能性もある。
図書館は新しいコンセプトで本を借りる、読むからもっと進んだ形にして欲しい。
図書館は書物を静かに読む、情報収集の施設に向けていく事を優先させてほしいが保育園の配置入れ替えが園児や保護者の利用に影響しないのか気になった。
合築により、利用人口が広がり、より地域のコミュニティが活性化するように感じた

集会所はさざんかねっとで予約が取れ、様々な方が利用する。中にはダンスだったり演劇だったりゲームだったり大きな音を出す団体もいて、図書館と合築するのは無理があると思う。現在の柿木図書館はとても静かな環境で読書に適していると思うので、このままの環境が良いと思う。
保育園が駅から遠く不便そうでコストも高そうですのでやめたほうがいいと思います
子供たちが図書館へ自転車で通う場合、現保育園近辺の道路は狭く、見通しも悪いので危険
保育園と図書館の配置入替、図書館と集会施設を合築する案には反対です。
他の案と比較して、費用が多く発生する懸念がある。
図書館と保育園の配置を変えて何か問題は変わりますか？新たにそれぞれ建て替えるという事でより時間とお金がかかりませんか？
緑の多い図書館からの眺めが美しく、落ち着いた環境が良い点、柿木図書館はできる限り形を残してほしい。建て替えではなく、補修・耐震で結構です。
図書館の閉館時間が長すぎる。本離れもある中、6年近く閉館と聞いたので、生活から図書館が完璧になくなってしまいうように予想し、文化的資本を失うように感じます。また保育園が駅から遠くなるのも良くないと思います。今の場所なら上井草寄りの人でも井荻寄りの人でも使いやすい場所だと思います
場所が変わるとかなり不便になりますので反対です
集会所と図書館は静穏性の必要性が同一と感じる。
図書館と集会施設、ゆうゆう館などの文化的施設がまとまっているのは、住む場所によっての不公平になってしまうのではないかと気になります。
集会施設、図書館が同じところにあるのは、利用者にとっては同時に利用できる。活動後に本を借りるとか。保育園は若い家族が自転車利用できるので場所が変わっても問題ない。
全ての世代から利用が見込まれる図書館が長期間休館となる点はデメリットが大きい。図書館と集会施設を合築することで、新しい交流があるとの意見があるが図書館は静かな環境におくべきであり騒音を生み出す施設とは共存は難しいのではないかと。また、相乗効果といえば聞こえは良いが具体性がない以上机上の空論と思える。
図書館しか利用しないので、場所が変わるのは容認できない。
集会施設はあまり利用したことがないので、図書館と合築されたら利用機会が増えると思う
住宅地なので保育園が今の図書館に行くのはいいとおもいます。今川ゆうゆう館のように図書館と集会施設が一緒だと便利かなと。
図書館と集会施設を合築は、落ち着いて読書ができなくなる懸念がある。
どうせやるならこのくらいすべきかなと思いました。保育園が現在の図書館の位置に移れば、朝夕の送り迎え時の自転車の駐輪や自動車での送り迎えも、問題なく出来る。・園のスペースも充分確保出来るため、運動会などの行事もしやすくなるし、父兄も行事に来やすくなる。・住宅が密集している所から外れるため、子供が出す音をとにかく言われる事も減ると思われる。また、現在、図書館が駅から遠く、利用者にとっては少し不便な印象になるので、駅から近くなるこの位置に移動する方が良いと思われる。故に、3案の中で1番好ましいと思う。
保育園はどうしても音が出るので、理解が得られている現在の場所がよい
図書館を移設・集会施設と合築することで、これまで静かに利用できていた施設が煩く感じる可能性を感じ、あまり歓迎できない。

図書館は徒歩で利用している方も多いと思うので、場所が変わることで不便さを感じる人も一定数いるのではないかと思います。一方で、保育園の環境面はかなり良くなる印象があります。
たたき台3は全ての建物を改築することになるので、税金の使い方の観点から見れば、築年数が比較的浅い建物まで改築しなければならないので、あまり良くない案だと思います
図書館と集会施設を複合すると騒がしくなりそうなので図書館は単体として現地改築を希望します。
今の四宮保育園は園庭が広い点が魅力の一つだと思うので、それが維持される点が良いと思う。一方で、自宅から一番近い図書館が6年も使えないのは不便なので、返却ボックスや予約図書の受取窓口だけでも仮設で設置してもらえるとありがたい。
入れ替えをすると、環境が変わってしまうので反対です。
この案が一番ありえない。四宮保育園の利用を検討する方からすれば駅から離れ、メリットがないし、今後の子どもの出生率が著しく上がるような要素もないため、廃止という話が出れば、利便性の良い柿の木の土地を売却するような案を出す愚かな区役所職員も現れるだろう。武蔵野市のような。
保育園としては緑豊かな図書館跡地で子供を育てられるのが良いと思った。図書館は場所が変わるが他の施設と複合して新設するのも面白いと感じたが、工事期間が長すぎる気もした。
この案が良い。
賛成です。駅前すらにぎわいが不足しているこの地域。変化すべきです。
図書館の場所変更となり反対
図書館の移転については、これまでの習慣もあり反対
利用しやすくなる。柿の木の雰囲気は変わってしまう。
配置を入れ替えるメリットが不明です。
図書館と集会施設の合築は落ち着くし、利用しやすいと思う。保育園の土の園庭は確保されるのか。
図書館の本以外のスペース(自習室、会議室など)が増えそう
配置を入れ替えると混乱する。図書館の位置は現在のままがよい。
保育園と図書館は現地に残ってほしいという思いがあり、効率的な部分はあったとしても、とってほしくない選択肢だと感じています。
入れ替えはしっかり議論する内容
集会施設は井草地域区民センターが近くにあるので困っていない。図書館が近くになくなる事の方が周辺のデメリットとして大きいなと感じた
今川のゆうゆう館が現在図書館と併設しているが、受付が離れて居る事や部屋の中まで土足で有るスタイルが非常に使い辛い。
図書館の配置換えには反対します。文化の拠点は末永く同じ所にあってほしい。柿木図書館は杉並の文化です。
慣れ親しんだ図書館の場所は変えないで欲しい。
図書館周りの樹木をのこせるのは良いと思います。複合施設は魅力的に映ります。
永福図書館のように図書館と集会施設が一緒だと演劇やコーラスなど少し音が気になる。図書館とゆうゆう館が一緒はいいと思う。今川図書館は使い勝手がいい。
施設の配置が変わるのも受け入れがたく、集会施設と図書館が合築するのもせっかくの静かな図書館が場違いに賑わってしまいそうで不安に思います。また休館期間の長さが気になります。
図書館が少しでも駅に近くなれば、利用する気持ちになる。

保育園の園庭面積が現状程度確保でき、仮設も必要ないのでよい。保育園単独の施設となるので、セキュリティ面も安心。図書館もよく利用しているが、どの案でも使用できなくなる期間はある。どの案でも3年は使えないので、6年使えないとしても近隣のほかの図書館を利用することで何とかできると思う。また、可能であれば現在の場所の周辺で図書の返却や予約図書の受取はできる仮の窓口があるといいと思う。図書館と保育園の場所が入れ替わったとしても、そこまで大きな移動ではないので気にならない。保育園は利用者が毎日利用するもので、子どもへの影響も大きい。保育園への影響をしっかりと考慮してほしい。
図書館の位置が遠くなるので利用しにくくなる
図書館の場所が変わるのは困る。
保育園の延床面積が大きくなり、かつ、園庭の面積も現状維持できるので、たたき台3が第一希望。
図書館が移転するという点で絶対に避けてほしいプラン。柿木町という町名を残してもらうため、地権者が区に提供した土地と聞いている。移転は不義理だと思う。今の地名は便利ですが、柿木町、神戸町、四宮町など昔の地名は味があって良いと思う。愛着を持つ人が多い図書館に名前が残ったら良いと思う。
今の素晴らしい自然環境が破壊されるおそれがあるため、良くない。
図書館と集会施設を合築すると、図書館利用が増えると思う。
図書館があまりに長く休館。これでは利用者が困る。
この案が1番いいと思います。ただ、図書館が6年間閉まるということで、そこはどうなるのか心配です。
保育園と図書館の入れ替えは良いと感じました。理由としては、緑も多く、夏場は涼しいので日陰が多く出来ており、安心して親御さん達は預けられるのではないかと感じました。ただ、庭がないので、庭を作れるような場所に新しくしてあげられれば良いなと思っております。
論外。
そもそも配置を入れ替えする意図がわからない。図書館横の畑や草木から虫が出るので子供達が蚊に刺されやすくなるし、早稲田通りが近いので小さい子供には危ない。
図書館利用に制限がありそうなのが困る。
保育園は駅に近い方がいいと思いますので現状のままだいい
保育園の園庭が広くなるのと仮園舎ではなく本園になるので労力も建築代も無駄がなく、金額的にも子どもたちにとってもいい。
いまの図書館の場所に保育園が来るのは反対である。
3案の中で最もコストが小さいが、最終的な「成果」の完成度は比較的高い。
保育園はなるべく、駅に近い場所にある方が、登園降園に便利で、子育て世帯は楽だと思う。たたき台3は保育園が駅から遠い場所に移転するので反対。
図書館が集会施設と一緒にになったら、柿木図書館の「ボツンと一件的オアシス風」雰囲気が継承されない。
保育園より先に図書館などを更新して欲しい。

問8 たたき台2及び3の集会施設は、どのような施設だと良いと思うかご記入ください。

利用者特性を考慮して、昼間は幼児や高齢者、夕方は小中学生、夜は大学生や社会人と、同じ施設を複数の利用者で時間帯別に使えるような多目的利用施設にできると良い。（平日日中は保育園児の遊戯施設や高齢者のコミュニティの場で、夕方は子供のスポーツ施設で、夜は社会人向けの集会所など）
避難場所や子供にとって良い場所になるといいと思います。
ごめんなさい、集会施設は使用していないので回答できません。
間口が広いことが大事。猛暑対策などで収容人数および日中の長時間滞在が可能にしておくべき
小中高生の第三の居場所があるといい。図書館として利用できる場だけではなく、友達と集まって過ごせる部屋、宿題できる場、カードゲームやSwitchをしていい部屋、飲み物を飲んでもいい部屋など幅広く活用できる居心地のいい施設になってほしい。不登校のこどもも日中過ごせる居場所もあるといい。
保育園とゆうゆう館、区民集会所は、それぞれ本来、その目的が異なると思いますので、改築の費用や効率という視点から一体化するというのは理解できますが、活動の目的を損なうことがないように、部屋割りや面積など配慮されるべきと考えます。保育園は教育施設であり、ゆうゆう館と区民集会所とは全く性格が異なるものです。
住宅街の中にあるので、大きな音出しの利用は不可が良い。（特に夜間）
フリーアクセスのできるデイサービスのような機能、大きなスクリーンでスポーツ観戦ができる場所、子供達が遊んだり宿題できる安全なフリースペース。つまりはいろいろな住民のためのサードスペースとしての役割が理想です。
地域の人達が快く利用できる場所であれば、それでいいと思います
大人と子どものコミュニケーションができる場。
誰でも気軽に使える施設だとありがたい。自由に気軽に使える場所。明るく、ゆったり過ごせる場所。
集会施設は幼児から高齢者までが集える、場所にしてほしいです。
文化活動、太極拳、ヨガなどでもできるのが良い。利用人数によって部屋を切り分けたり間仕切りを外し広い部屋に融通が利くようにすると良い。
40-50 畳くらいのフローリングの部屋があると良いです。軽い運動ができるレベルだと使い勝手が良いと思います。
簡単なカフェスペースがあると良い。地域の人がもっと気軽に使えるような、下井草の地域センターの小さいバージョンだと良いなと思います
図書館も含め、さまざまなイベントやワークショップが開催できるような場所であって欲しいです。窓があり、緑が見え、天井が高めで、若者でも来られるような場所がいいですね。単なる溜まり場にならないような工夫が必要です。
園庭はなるべく広く、図書館では本を読めるスペースが広いといい
幅広い世代が使いやすい施設になると良い。Wi-Fi等IT利用の利便性を高めて欲しい
施設前のベンチ（可能なら屋根付き）を増やしてくれると中に入らなくても休める人が増える（たむろする学生については要検討）。カフェまたは購買のようにパンやお菓子が買えるといい（飲食できるスペースも）。現状のようにコピー機はがあると助かる人もいる。マイナンバーカードで住民票が取れるシステムは難しい？

各種の催しと自己学習の融合施設
美術活動、音楽活動、軽い運動（ヨガの様な）、調理や裁縫等の家政活動と、用途を明確にした空間も必要だと思う。何にでも使える部屋ばかり数多く作るよりも。簡単なレストラン（カフェ）は！！絶対に！！必要。
自宅でヒョイと行ける徒歩圏内ではないので、利用は皆無です。一体何のための場所なのか知りません。
気軽に立ち寄れる場所が広いと良い。同じ世代同士だけでなく、様々な世代や子どもとおとなの交流が生まれる利用やイベントなどの仕掛けがあると良い。地域の交流が生まれると、生活が豊かになったり、防災力の向上にもつながると思う。
ゆうゆう館は高齢者の見守りに配慮していて、行くたびに声を掛けてくれたり、休みが続くと電話をくれるなど細かい配慮がある。この安心感のある対応を残してほしい。
四宮森児童館は小学生達が周りを気にせず暴れてるので小さい子連れて行くのは怖い為
井草地域区民センターのようなのがよいです。
図書館が広く使いやすくなるといい 子供と楽しめる施設だといい
最近だと、図書館も3番目の居場所でゆっくり長居できる施設が増えているが、集会施設と一緒にすることで、軽食も可能なラウンジ等があれば、あらゆる年齢層が利用できる施設になると思う。
音楽ができる防音設備の整った部屋も含めた多目的の複数の部屋。
もっと、いろいろな年齢層の人が参加しやすいイベント、講演会、趣味の講座などやってほしい。地元の人と知り合いになりたい。
子供が勉強できたりするスペースがあるといい。
こども食堂
子供からお年寄りまでが一緒に利用できる施設が理想的だと思います。
子供が遊べるといい
保育園の園庭は素晴らしいので、そのまま良いと思う。感染対策が必要になるかもしれないが、給食を子供、お年寄りと一緒に取れるスペースがあると良いかもしれない。
現在 見本となる今川図書館+今川ゆうゆう館は新しい作りである。しかし中央階段のアップダウンの都度のお喋りが耳障りになっている。階段は部屋の隅が良いかも。ゆうゆう館各部屋に下足棚があればよい！
明るくて、働いている方も気持ちが明るくなるような施設が良いです。
防音室が欲しい。ダメでも防音がそれなりにしっかりした部屋。多目的ルーム。災害時対応可
現状何ができるのか分からないので何とも言えません。
会議、習い事教室、自治会活動に利用できるといいと思う。
バリアフリー化(車いす対応)必須
夏の猛暑時の避難場所として過ごせる空間だと嬉しい、座る場所が多いとか、靴を脱いで寛げるスペースがあったり、長い時間滞在出来る工夫
子育てと災害対応に活用できる施設。
予約なしでもふらりと入って座れるような場所があるとうれしい。付近にお店などが無い為、夏場に歩いている途中で立ち寄って休めるスペースがあるとうれしい。
町会の会議に使いたいので会議室を多く。それこそ建物内部のレイアウトはWGで徹底的に揉んだらよい。ゆうゆう館利用者の声も聞いたほうが良い。

子どもの居場所（とくに中学生等大きい子の居場所になるとよい）
大部屋化が効果的な施設になると良いと思います
子供たちの遊び場もあるといい。
集会施設については、正直どうでもいいです
今まで行われていた四宮区民集会所での春祭りを継続してほしい。井草区民センターのような広いロビーや部屋があれば、お祭り時にダンス、歌、和太鼓、吹奏楽など色々なステージができていいと思う。小ホールがあればピアノの発表会やダンスの発表会もできていいと思う。
現状は細い入り口、奥まった建物、中が見えず、入り口も分かりづらく、とても入りにくい
音楽や演劇ができる防音室やスポーツができる部屋、自習室専用の部屋など目的にあった多様化した施設になると良い
カフェが併設されて、イベント開催など、あらゆる年齢層が利用可能な施設になるといいです。
たたき台3の場合、図書館のスペースの確保を望みます。そして図書館利用団体については、集会室の無料貸し出しを維持してほしい。
子供のオムツ替えスペースを、予め広く取ってあると良い
幅広い世代が同じ場所で過ごした際に構造的にも交流が生まれやすいようなレイアウトで、バリアフリーや安全性に特に配慮が行き届いているといいなと思う。
お年寄りが多いので交流の場になればよい。
幅広い世代が集い快適に過ごせる休憩所があると良い。
音楽や料理ができる場所があると良い。3の方が便利そう
体操が十分できるよう、現在は少し狭いと思います。ドタドタ音がしても差し障りないよう。
図書館の自習スペース、読書椅子が多い
たたき台3 自習スペースやカフェの併設
他施設を含め、利用率が高い設備を中心に設計して欲しい。
周囲の環境と馴染むことが重要。奇抜なものは要らない。
たたき台2に関しては、子供の居場所、お母さん達の居場所にもなると良いです。ただ、3の図書館の移転は反対です。
将棋教室や英語教室など子どももご年配の方も地域で世代を超えた学習の機会ができ、学校と家庭の間で学びの場や機会を作れる施設が良いのではないかな。
集会施設の中には様々な世代が使えるような、例えば、自習室などを併設すると良いと思う
自然光の入る明るい施設が良い。
障害者や高齢者も使用しやすい構造だとよい。
レンタルができる部屋が多い
子どもが運動できるくらい広いホールがあったり、そろばんや習字、生け花等習える教室があったりすると良いのかなと思います。あまり、現在の四宮区民センターを利用していないため思い付きません。
現状のゆうゆう館のように高齢者のスペースは区分けされていると良い。例えば1階をゆうゆう館にして上階をその他の施設にするなど。
ダンスやバレエ、ヨガなどが出来るような鏡、音響や防音の工夫、ウォーミングアップのためのバーを設置した十分なスペースを持った部屋。理想やお見本となるのは荻窪体育館の小体育室。バーを解体すれば会議室にもできる。健康的な生活の維持のために、様々な種目の運動スペースに活用できる

多目的ルームを持つスペース。地域のお祭りにも現在のように活用できるようなフレキシブルな施設を求む
図書館にカフェ及び小中学生が気楽に集まれる Wi-Fi 利用可能なスペース。現状は行き場のない老人の吹き溜まりになっている側面が強く、最も大事にすべき子供達への訴求力が弱いので。また区役所職員の再雇用の場所にしないでいただきたい。民間施設の職員とその質を比べていただければどちらが市民に寄り添ったサービスを提供してくれるかは一目瞭然だと思います。
井草グリーンプロジェクトと連携した緑あふれる施設を作って欲しい 旧杉並中継所と連携した都市型スポーツ等が出来る施設を作って欲しい コミュニティふらっと東原やセシオン杉並のような乳幼児コーナーを作って欲しい 永福の区民センターのような和室の休憩スペースが欲しい コミュニティふらっと東原のような天井の高い多目的室を作りバドミントン等の屋内スポーツをやりたい（井草地域をスポーツ施設重点地域にしたい）多目的室の天井は低くてもいいので屋内ラウンジや屋外フリースペースを少しでも広くして欲しい 給水機より冷水機を設置して欲しい 阿佐ヶ谷区民センターの屋上の様に屋上公園を作って欲しい イベント時にも対応出来る駐輪場とキッチンカースペースの確保をお願いします 電子掲示板の導入をお願いします 設備の充実した音楽楽器室の設置をお願いします 演劇等の練習が出来る防音設備のあるある程度広い部屋をお願いします（八成集会所やコミュニティふらっと東原にはないはず）チラシを整理するラックの改善をして欲しい（見にくい）区から依頼のポスターの掲示板の運用改善（区民が知りたいポスターが貼っていない場合があると思います）所管の方々も施設を訪問してどの様にはられているか確認して欲しい 現状貼るスペースが無い施設もあるかと思っています）図書館とコミュニティふらっと等を合築するならコミュニティふらっと永福の様に図書館を下にしないで欲しい（多目的室の振動や音漏れがする）高齢者がのんびりすごせるスペースが欲しい（コミュニティふらっとのラウンジで高齢者がくつろいでいる場面をあまり見た事がない）地域コミュニティ（町内会や青少年育成委員会等）が管理者と連携しやすい施設にして欲しい 地域のシンボルになるような名称や外観にして欲しい 柿木や四宮などの名称は必ず残して欲しい コミュニティふらっとになったとしても高齢者の為の企画数をあまり減らさないで欲しい（ほとんどのコミュニティふらっとでは高齢者向けの企画が一番少ないと認識しています）小学校高学年から 20 代が使いたくなるような施設にして欲しい
梅林があるので緑を感じられる施設(梅林を整備しピクニックできるなど)
現行の集会所の機能+さらに大きい集会室の増加と体育館の増加が良い。
用途を限定することなく、多機能施設として利用できないと、長期にわたり将来的な活用がむずかしいのではないかな。
運動会や音楽が出来る広さのある部屋と少人数でも利用出来る会議室や学習室があると良い。
運動や娯楽施設があるといい
Wi-Fi があって、調べものをしたり、くつろげるスペースが広いといい。中央図書館みたいなカフェがほしい。祭りができるような外のオープンスペースが使い勝手が良いようにしてほしい。子供が安心して遊べる場所があると良い。
集会所は利用した事がないので、どの程度の頻度で使用しているのか分かりません。通りに面した梅林をもっと効率よく利用する事が出来たらと思います この部分を保育園児の遊び場に出来ませんか？
集会室の広さが調整できる、最大 100 名規模の大人数の集会も可能で、地域の集まりの場として飲食も可能になると望ましい。中高生が集える場もあるとなお良い。

催し物などが多い多目的な施設になるとよい
保育園のみにして、庭を広く取ってあげて欲しい。図書館は自習室があると良い。
小学生以下の子が雨の日や暑い日に遊べるような遊戯室があると良いなと思います。
既にある施設、コミュニティふらっとの使用状況、今川図書館のような行事のできる施設の使用状況、利用者の声、他の区や地域の取組状況などを調べて、良いとこどりで考えたらよいと思う。
デザイン性を持たせた施設(目を引くような)
なんでも建て替えではなく、修理して、大切に使うことも良いことなのではないですか。
誰でも集える施設。イベント、運動ができる。
様々なワークショップや〇〇教室、などが開催され、地域住民優先で参加出来ると良いと思った。
住民が集まってコミュニケーションが取りやすい、大きなホールや少人数で作業できる小部屋もあるといいと思う。
子どもだけでなく高齢者、障害者、様々な人にとって使い勝手が良い施設を望みます。これまでのコミュニティふらっととは違う良い点だけではなく悪い点などの聞き取りをして、新しい形での機能を見直すべき。
子供達が繋がりを持てるような場所。
会議しか使われない
年齢を問わず集まれる場所があるのは良いと思う。変にオシャレな外観にせず、ユニバーサルデザインなどを取り入れたどんな人にも分かりやすく利用しやすい施設であればよい。最近の施設はとにかく維持費が高そうなウッドデザインや、弱視などの視覚障害を全く無視した分かりにくいデザインが多いと感じるので。ビオトープはあってほしい。
たたき台2 保育園のイベントができるホールがあると良い
フリースペースが広く、軽い飲食可能なスペースがあると良いなと思う。自転車置き場や図書館全体も広くなると良いなと思う。現在3階の開架書庫に行きたいが、階段が急で少し怖いので、通路等も広くなると良いなと思う。
住民同士のつながりや、地域の交流が活性化する施設だと良いです。子どもの居場所となる施設だと良いです。子どもが大人から何かを学べたり、子どもと大人の交流ができると良いです。
保育園は現在の場所で移動すべきではない。集会施設と図書館は音漏れとある程度の図書館の静寂が担保されるのであれば構わないと思う
ロビーが広いと嬉しい。カフェスペースがあると嬉しい。
保育園のニーズが減った場合に、保育部屋を集会部屋に転用できる構造が望ましいと思う。
利用していないのでわかりません。利用者の意見を尊重。
図書館を改築するなら、もっと明るい施設が良い。
屋内でも屋外でも良いので、子供からお年寄りまで誰でも利用できる、休憩スペースのような場所があると良い。借りた本も読めて、自習もできたり、誰かと待ち合わせにも使えるような。
運動出来る部屋があり、いくつかの集会が出来る部屋やロビーなど誰でも利用しやすい空間があればいいかなと
コワーキングスペースのような学生も社会人も使えるスペースがあると良い。今は一人用の電話ボックスのような打ち合わせスペースもあるのでそういうものもあると良いかもしれない。
WiFiを飛ばし、コワーキングスペースを作ると、青年～中年層も利用し、より活気が出ると思う

災害時に井草森公園等とすぐに連携がとれる施設運営と防災機能が向上した施設になると良いと思う (阿佐ヶ谷北東地区のように災害に強い防災拠点をつくる) 施設周辺住宅に配慮しながらも夜間の照明や防犯カメラの設置による防犯面が向上した施設になると良いと思う 他区の集会施設のように鉄道模型等(全く違うが以前の科学センターにもボタン操作する模型があった様な気がします)を展示し子供達が何回も訪問したくなる様な魅力ある施設になると良いと思う 屋上や雨庭の緑化や雨庭等による地域環境が向上した施設になると良いと思う(阿佐ヶ谷北東地区のように豊かなみどりを守り育み持続可能なまちをつくる) 屋外にベンチや健康器具を置いて区民がよりふらっと立ち寄れる様な施設になると良いと思う 他区のように地域住民が主体的に運営し無料で使える集会施設になると良いと思う たたき台 2 に決定した際は保育園利用者が集会施設の多目的室も空室時に使える様な運営が出来るような施設になると良いと思う たたき台 3 に決定した際は阿佐ヶ谷地域区民センターのような喫茶コーナーがあるような施設になると良いと思う(ドリンクバーは売上や管理の関係で早々撤去されてしまったみたい)
大小の会議室、フレキシブルな空間(仮設ステージや展示が出来たり)、生ピアノが置いてある練習室、ロビーには座り心地が良く、1 人でもグループでも多様な人が行きたくなる空間を作って欲しい。
区民集会所や、ゆうゆう館をもっと、区民の方に有効活用して欲しい。夏が暑すぎる中、こども達が安全に遊べる場所がすくなくすぎるようにおもいます。ゆうゆう館の使い方を改善していただきたいです。
ゆうゆう館と区民集会所が一緒が良いと思います。たたき台にもあるように有効に稼働出来るように思います。
多様な人々の交流の場であり、同時に地域にとって必要な集会が定期的に行われる場であってほしい。
地域住民が誰でも、どの年齢層でも、気軽に利用できる施設だと良い。
集会施設の主旨とはずれてしまうかもしれませんが、一人で館外から資料等を持ち込んでデスクワークができる場所が欲しいと思ったことがありました。どの施設だったか覚えていないのですが、談話コーナーまたはラウンジに向かったところそのような目的では使用できないとわかり断念しました(民間のレンタルスペース成飲食店アリを使うべきだったかもしれません)。
ロビーが広く明るい空間が良い。
老若男女が利用したくなる施設。中高生が表現のために使える場(音楽スタジオ、3D プリンターが使えるラボ)。高齢者が子供に何かを教える場。(交流の仕組み) リスキリングの場。施設も大事ですが、運営(ソフト)も同時に考える必要。
子供からお年寄りまで誰もが自由に出入り出来楽しめる施設であって欲しい。出来れば簡単な喫茶室などあったら良いと思う。コミュニティフラットではなくゆうゆう館の体制は続けて欲しい。
集会所を使ったことがないのでイメージがわからない
バリアフリースイレ、子ども用トイレ、授乳室があると良い。1 人でも座りやすいカウンターがあると良い。
中学生や高校生が自主勉強できる環境があるとよい。特に高校生は部活後に勉強しようとする、自宅のみになってしまうので、部活後に 19 時や 20 時頃まで、自主勉強ができたり、寺子屋みたいに勉強を教えてくれる人がいるような環境があるとありがたい。
バリアフリー

足を伸ばしてくる価値のある施設(杉並中央図書館、武蔵野プレイス)
使ったことがないので、特に希望はありません。
夜でも明るさのある施設
それぞれの施設の主たる役割が阻害されないことが一番大事だと思います。
現在と同じ利用法でよい
経年しても多用途に有効に使える工夫が必要かつ重要だと思います。
将来の人口分布が変化しても対応できる施設にしてほしい
子供が雨の日でも遊んだり、勉強したらできる施設がいいです。他に、習い事の貸し教室になるのは賛成です。
初めてでも入りやすい開放感のある施設になれば良いと思う
保育園の園庭が広く、自転車置き場が集会施設になっても、自転車が溢れないようにしてほしいです。自転車置き場に屋根があると雨の日に大変助かるので、あると嬉しいです。
多目的に利用できるとよい。
防音対策が出来ている施設
イベントがあるようですが、事前に、当日でも、広く拡散して一度も行ったことのない地域の住民でも足を運びやすく、掲示板や商店街にポスター等で、告知を工夫して頂きたい。
お手洗いがバリアフリーで清潔
集会施設は利用したことがないのでわかりません。
高齢者でも安全で安心して気軽に利用できる場所であってほしい。
図書館はカフェスペースがあると良いです。巡回で来る地方の物産展や美術展なども。
お店と併設してくれると周囲が明るくなるので嬉しいです
現在のコミュニティフラットの施設は、さざんかネットで利用する集会施設なのか、子どもの時間もあるが、一定の年齢以上のグループは優先利用できるゆうゆう館的でもあって、何か中途半端な施設に感じる。ただの有料(条件が合えば無料)の場所貸し施設になっているだけのように見える。施設利用の際、受益者負担の原則で、社会貢献活動をしているグループからも施設使用料を取っている現状を改善してほしい。近隣の区の状況なども参考に是非見直してほしい。
緑が多いと良い 柿木図書館にも中央図書館などのような個別で作業出来るスペースがあると良い エレベーターや車椅子やベビーカーでも通れる広い通路があると良い
バリアフリーになっているとよい。災害時にも活躍できる場所となれるような構造がよい。
地元の会合などにももう少し中を持たせてほしい。
カフェスペースがあると嬉しい。保育園のセキュリティもあるので、職員エリアを挟んで保育園に一般が入り込めないような施設設計をして欲しい
利用することがないのでわからない
緑を更に増やして、森の中の図書館になるとよい。
周囲の自然環境となじむのであれば良い
全てが利用しにくい感じがあり、改築することで地域の人がいつでも出入りできるような見通しの良い間口の広い明るいイメージの建物にしてほしい。簡単なカフェなども良い
四宮区民集会所で行われている、春祭りの様なお祭りが催せる施設
高齢者と子育て世代に優しい施設の設計思想が望ましい。

市民が予約してイベントを行なう、講習会などを行なうなど単なる貸しホールの集会場では面白みもなく、空きの状況が予想される。それでは意味がないため、集会施設だけを考える発想ではなく、図書館と連動した発想から考えていく方が面白く発想しやすいと思われる。
集会所は、防音の部屋があると、もっと利用する団体が増えていいと思う。勉強スペースもあるといい。図書館は、今川図書館のように明るくて広い、小さい子から学生、大人、老人まで使える施設だと思える。
おむつ替えのスペースがあるなど幼児がいる世帯にとって利便性が高い
明るく、喫茶設備もあった方がいい。
子供達も楽しく使える施設にしてあげてほしいです。ピロティで遊んでいると、煩い！汚く使わないで！と言われて追い出されたりしているようなのですが、マナーを守らない子だけであって子供全員ではありません。子供達がガヤガヤやっても大丈夫な場所を少しでいいからルールを作り提供してあげて欲しいです。老人になってくると、うるさかったりする事にイライラするかと思いますが、昔はみんなうるさかったのに許されていたのが、今の子供達は許されないのは悲しいなと思います。
たたき台2に関しては、ゆうゆう館と集会施設はスペースとしては共有できる部分があるのではないかと考えています。なので、両方の利用者が必要に応じて使用できるスペースが合っているとしますし、トイレなどは一緒に使える形で整備して、スペースを有効的に使える設計を検討していただきたいです。
今の集会所はロビーが広いので、一部防音室を作り、ピアノを置くと楽器練習に使えるようにすると利用率が上がるのではないのでしょうか？あとは和室の利用率が低いので、和室は井草センターや八成集会所に立派なものがあるので、和室を会議室にした方が利用率が上がると思います。
図書館には、今おいて無い、CD等、音楽的な物や、多目的ホールがあると良いです。
Wi-Fi環境の整った自習室の充実。図書館と一体化した集会施設。飲食可能な大中小の個室。利用率upや地域コミュニティに役立てる。現状の四宮集会施設の入り口は狭く良くない。
高齢者が気楽に利用できる施設がよい。
多少、大きな音をたててもよい部屋が欲しい。飲料水の自動販売機を置いて欲しい。個室である必要はないが、子供たちが自習できるスペースが欲しい。
地域住民が多世代交流とともに、よりリラックスできるスペース（座って緑をながめられておしゃべりできる、期間限定のイベントがある等）を利用できると良いです。高齢者の方々については、今の活動が変わらず続けられると良いと思います。
高齢者にも子供たちにも使いやすい、小体育室があると良い。
どの年代も利用しやすい施設
学生が勉強するスペース、親子の集まれる場所として場所を借りられるレンタルスペース、卓球や音楽などできるレンタルスペース、簡単な飲食や休憩ができる椅子テーブルのある共有スペース、その他イベントなど、子供から大人までが気軽に利用できる施設にしてほしいです。
宴会場は不要です。
閉館の間の活動(団体活動、協働事業ともに)を確約して欲しい。井草館、桃井館は遠すぎる、暑い夏には特に行く気にならない。子供食堂の活動も無くしてほしい。
防音設備のある軽い運動や音楽ができる部屋、小分けにできる会議室、和室があると良いと思います。
カフェを併設してあると、人が集う場所になるのではないかと。中央図書館のように。

バリアフリーやエレベーターが備えてあるなど、お年寄りに配慮した施設
私は6歳の息子がいる家族です。集会施設を利用したことがなく、イメージがわきにくいです。どのような活動をしているのかも、よくわかりません。
地域のイベントができるとよい。
自然に囲まれた施設。カフェ等で、世代を越えた交流が持てる場所。
園庭の広さ、子どもたちがのびのびと遊べる、泥んこ遊びの四宮保育園は守ってほしいなあと通わせてきた母としては思います。
気軽に使いやすく、アクセスがよい施設にしてほしい。
ゆうゆう館を使っていますが、やや狭く人とぶつかります。もう少し広くて、のびのび運動ができるとありがたいと思います。
中央図書館みたいな図書館になってほしい
飲食店が入った施設(付近に店がないので、子ども連れも利用できるように。地域の店のお菓子やパン、駄菓子販売などでも。)
ピアノのある音楽練習可能な設備があると嬉しい。
多世代が利用できる世代複合型の施設。保育園、高齢者の集える場所、集会所色々な機能を持たせて利用しやすい場にしてほしい。
たたき台3は反対。明るく入り易いエントランス。普段、定期利用していない人でも参加できるイベントや単発の講座があると良いです。
区として何を優先されるか、明示していただきたく思います。高齢化なのか、子育て優先なのか、人口減少に備えるべく他地域から人を呼び込むのか、猛暑対策なのか、防犯対策なのか、等々。これに沿った施設とされてはいかがでしょうか？
出来るだけバリアフリーで一般の人でも休めるスペースがあると嬉しい
集会施設、ゆうゆう館、保育園、児童館が一体化されていると、良いと思う
ヨガや軽い運動などが出来る鏡付きの板張り部屋、机と椅子があって会議やワークショップや手仕事ができる部屋を大中小ひとつずつ、畳の部屋を設け、和の習い事(お茶・お花・着付け・三味線・お箏・日本舞踊など)が可能な部屋と用途別に使えるバリエーションがある部屋のつくりにしたなら、利用者も増えるのではないかな。また、軽食程度の喫茶店か喫茶スペースも欲しいところ。
たたき台3の図書館・集会施設に、静かな落ち着いた喫茶店があれば、嬉しい。
使用するスペースが広い方がいい。机、椅子等の収納場所があれば良いと思います。
広さを変えられるフレキシブルな会議室があると利用しやすい。Webでの予約ができるとよい
区民の利用が増える施設。小規模で良いのでスパなどのリラクゼーションと避難所が併設された施設だと嬉しい。
広めのホールのような、多目的に使える空間は必要だと思います。その上で、少人数向けの部屋が2〜3室ほどあり、地域活動や会議など幅広く使える構成だと利用しやすいのではないのでしょうか。
現在の配置希望以外特に無し
「集会施設」の名称では自ずと利用目的も制約されるので、複合施設とするならある程度柔軟な対応ができるようになると良い。例えば一つの部屋を異なる目的に使えるような対応ができれば、需要の変化に合わせた供給も可能になるかもしれない。
コーラス、楽器演奏ができるとよい。
駐輪場が広いと良い

いろいろな人が利用できる施設
環境配慮して、地域住民も臨時で止められる駐車場完備
お年寄りや、専業主婦など、社会や他者との繋がりが希薄になりがちな世代が、何かしら繋がりを持てる場になるといいと思います。
図書館が広いと良い。また、中央図書館のようにカフェを併設してほしい
図書館が静かでリラックスできるオープンスペースがあるといい。なので複合施設にはしないで欲しい。
図書館は少しオシャレにしてほしい。カフェがあると Good です
老若男女利用できる施設(区の施設はお年寄り・乳児がメイン層というイメージがあるので、仕事帰り特に用事はないけど寄ってみた、が叶うような)
本の受け渡し窓口があると便利。
誰でも気軽に使える施設だとありがたい。
施設全体を見渡せるような場所がある構造にして、明るい感じにしてほしい。現行の施設は初見だとどうにも入りづらい。
多目的スペース、クーリングシェルター、見学施設（作品やアニメ文化の展示等）などがあるといいと思います。
自由スペースの拡充
杉並区には、ピアノや電子ピアノがあって、コーラスを楽しめるところが少ないので、音楽室を作りたいです。
幅広い世代が利用することができ、自然な交流が生まれうる広いフリースペースがあると良い。インターネットが苦手な（あるいは不可能な）高齢者でも利用しやすい予約システム等の構築が望まれる。
学習室(会議室)を充実させる
真夏でも子ども達の遊び場にできる場所があると良い。公園に代わる場所を確保すべき。

問9 その他、この取組全体に関するご意見等があればご自由にご記入ください。

このような形でアンケートを実施するのは、区民も参加しやすい良い取り組みだと感じました。
それぞれの場所でそれぞれの役割で使いやすい施設を希望
柿木図書館しか使っていないので、その他の施設については何も知りません。柿木図書館は家から徒歩で通えるのでよく利用しています、移転されて別の場所にうつったり別の施設と合併されたりされると残念です
これまでのワークショップの中で樹木は残したいという意見もあるようだが、図書館内の樹木（メタセコイアや竹）は伐採して、手入れに苦労しない常緑樹等に変更してほしい。落ち葉の量をみていると管理が出来ている状況とは言い難い面があると考えている。図書館周辺道路の路上駐車が多く、歩行者、自転車の通行にも支障を来しており大変危険である。外構計画の際には樹木検討とともに、周辺道路への路上駐車が出ないように、複数台駐車場の設定や、見通しのよい計画として欲しい。
私自身が知らないだけかもしれないが、近隣に中学生や高校生が土日など友達と勉強できる環境や施設が少ないと感じる。皆がみんな、塾に行けるわけではないし、親が教えるのにも限界がある。 「日々の授業の分からないところ」をフォローしてくれるような、友達と勉強を教え合えるような勉強スペースがあると親としては嬉しいです。
たたき台に関しては短期間では意見は出せませんが、お休みの間利用していたお部屋の確保を一番に希望します。区の方で利用できる施設の確保をお願いしたいです。
図書館の新築には反対です。リノベーションをしてほしい。もったいない。耐震対策、内部は取り換えが必須です。よろしくお願いします。保育に関してはお任せします。緑を残すのは必須。できればコーヒーコーナーもあると良い。
必要性の高い順番は、保育園、図書館、集会施設だと思う。現地改築をすると、その施設の機能は停止ないし低下する。従って3案に保育園仮説を加えた案が望ましい。
現在ゆうゆう四宮館を利用しています。今後も利用できる施設をご用意してください。よろしくお願いします。
施設の設備ごとの利用率や、ランニングコスト、利用者の年代、他の施設との比較など、データ自体はワークショップ資料にあったがなかなかたどり着けなかった。また、ワークショップなどの存在も今回のチラシではじめて気が付いたため、周知の方法を検討して欲しい。アンケートについては、自由記述だけでなく、選択式の質問を増やしてもらえると、回答のハードルが下がり、回答率が上がると思う。実際、妻は面倒くさがって回答しなかった。
広く意見を募るのは良いです。
計画がはやく推進されることを期待します。
今後のプロジェクトの進め方としては、何個かのワークショップとオープンハウスでの表出意見を踏まえて、4施設の改築計画とともに、各施設工事期間中の利用者の活動継続計画を加えて、2～3案の計画を策定し、地域住民による住民投票によって最終決定することを提案いたします。
予算を安くする
何度もワークショップを開催し、意見を集約されてこられたと思います。各ワークショップのご報告をホームページで拝見しました。それぞれの案に至るご苦労もあったと思います。ご苦労様でした。こういったアンケートを取られることは勿論大事なことと思いますが、熟慮を重ねたられたワークショップでの意見交換が生かされることを願います。

私はたたき台1の案に賛成です。それぞれの場所で今まで通りの形がいいと思います。協働事業（ヨガ体操、ヨガシェイプ、気功ストレッチ）に楽しみに通っています。この講座をゆうゆう四宮館で死ぬまで続けたいと願っています。ゆうゆう四宮館は自宅から近く通うのに便利ですし、地域の方々と交流もでき、講座の料金も安いので、高齢者にも安心して通えます。どうかなくさないでください。お願いします。
現在 私達が利用しておりますゆうゆう四宮館につきましては 改修工事の為3年間閉鎖される予定と伺っております。当館で実施されている様々な教室や集まりは高齢者を中心とした地域住民の健康維持、体力向上、参加者同士の交流や見守りの機会ともなっております。館閉鎖中も 各教室を継続して開催できるよう 公共施設を含めた代替会場の確保を強くお願いいたします。地域高齢者の健康維持と生きがいづくりの為にお願い申し上げます
区役所や関連施設のみならず、駅前の通勤時間帯などにスタッフにチラシを配らせてこのような取り組みの存在を周知するやりかたは、効果的だったと、今回私自身が体験して思った。
老朽化及び耐震性の問題があり早急に改築を希望する。
アンケートでの多数意見で決めるのではなく、どのようにしたら、より住民生活が向上するかの視点で考えてもらいたい。
工事期間が長すぎる。金もかかるのでは？
柿の木図書館は古くて五歳の息子は近寄り堅い。四宮小学校や近隣の幼稚園から近くて立地がとても良いので、移転や複合施設にはせずそのままの場所で明るく小さい子でも行きやすい雰囲気作りに努めて欲しい。
図書館は移転改築せずに現地改築が良いと思います。
費用が掛からないほうが良い。
この街に本屋がない。この町に花屋がない。この町にウキウキする CAFE がない。古くなった⇒こわす だけでなく、大切に使っていく図書館があっていい。本と向き合える、とても大切な場所。
地域住民の生活の重要な場所について、利用者からの意見を広く集めてくださることはありがたいと思います。その声の真剣さを是非拾い上げていただきたいです。
夏が暑すぎる中、こども達が安全に遊べる場所がすくなすぎるようにおもいます。ゆうゆう館のもっと使い方を改善して頂きたいです。
慣れている現在の場所の変更は反対です。
保育園に通わず親の意見を優先して欲しいです。
今ある樹木はどうなるのだろうと思います。少しでも生かされて屋外でもくつろげる場所ができるとよい。
たたき台自体をよく分かっておりません。
子供もおらず、高齢者という年代でもない自分が区のサービスを利用するのは図書館くらいしかない。図書館が遠くなるのは個人的には残念に思う。
柿木図書館が区の職員の方による運営のまま続いてほしいです。図書館に学習席だけ求めている人もいて、図書利用をしていない場合もあるので、学習ラウンジを月額で利用できる施設を別に設置して、そのうえで両方の設備を比較して使えるようになってほしいです。（調べ学習は図書館資料を使うので、図書館、学校の宿題は学習ラウンジなど。図書館を小～大学生が使う場合、区民なら利用無料で大人（大学生以外の成人）は有料にして収益を少額でも得るなど）

勝手な意見ではありますが、なぜ行うのかの説明が足りない気が私はしました。もう少し説明をしていただきたいなと思っています
現在ゆうゆう四宮館を利用しているものですが、高齢者が運動できなくなるのは大変なのと、日々、色々な習い事をこここでして毎日過ごされている方も多いので、代替の場所の確保どうぞよろしくお願いいたします。
できる限り早く進めてほしい、私が生きている間に利用できるように。
現状の施設を壊すこと無く、リフォームしていただければ、と思います。
健康増進や暮らしが豊かで楽しくなる施設になって欲しい
たたき台1・2のどちらかだとありがたいです
無駄に凝ったデザインで改築費用がかさまないようにして欲しい、
代替場所は今の気功ストレッチは健康のため、生きがいのため、絶対必要です。必ず確保をしてください。
このようにそれぞれの意見を集めても、収集が付かなくなってしまうかねません。方向性がよく見えないという点が印象です（総花的）。まず、区として、何を最優先とするかを明示し、優先順位付けをした上で、絞らないと両論併記で終わってしまいます。個人的意見はともかくとして、例えば、少子高齢化等、幅広く同意が得られる点から最優先事項を区として設定してはいかがでしょうか？
海外のように、古いものを取り壊す、ではなく古くなった設備をリフォームしていくことで費用の節約をしながら、今のニーズに応えられる施設へ変わっていきけるといいなと思っています。
建て替えの間の協働事業の場所を確保してほしい。よろしくお願いします。
もっと公共の施設の充実を望む
「たたき台3」は、図書館機能の移転によって利用しづらくなる住民が増えるうえ、約6年間という長期休館の影響も大きいので、賛同できません。また、公共施設は一か所に集中させるのではなく、地域内で分散配置することが公平性の観点からも望ましいため、図書館は現地改築が適切だと思います。
旧杉並中継所や四宮森児童館四宮小学校を加えた更新計画を考えた方がやはり良かったのではないかと思います。今回2日間複数施設にてオープンハウスを開催して頂き感謝します（対話の区政が実践されていると思います）花と緑の井草祭りでもオープンハウスをやってもらえたらより良かったと思います。杉並区のイベントカレンダーにスケジュール記載してもらえたら良かったと思います。ゆうゆう館とコミュニティふらっとの施設目的が違う事をワークショップやオープンハウスでももう少し説明して欲しかった。ワークショップでは多世代交流と言うキーワードや施設利用率の話を区職員から言われてしまうとゆうゆう館を存続して欲しいと言える雰囲気にならずコミュニティふらっとに行政はしたいかと思ってしまった。他区のようにコミュニティふらっととは違う高齢者優遇の集会施設を作りたい。杉並区の財政にゆとりがあるのなら高円寺のコミュニティふらっとのように地下化し最大限にスペースを有効活用したい。杉並区の財政にゆとりがないなら最低限のシンプルな施設を作りたい。保育園の仮園舎には反対（旧若杉小学校の活用の中でコスト面から仮園舎案が出来なかったのに納得できない）仮園舎の場所が今のままなら子供の安全面を考えたらたたき台3しか有り得ないと思います。行政として更新方法（案）を作成した際に他の仮園舎予定地が見つからない場合今まで行ってきたワークショップ等の価値や評価評判等が下がってしまう可能性があるので粘り強く最期まで仮園舎予定地を探してほしい。仮園舎の候補地で四宮小学校の敷地が利用出来ない理由が納得できない。四宮小学校が学びの場として今の敷地スペースが必要なら納得出来るので教育委員

会の見解が欲しい 一方教育活動への影響（具体的に何を指しているのか区民にはわからない）や樹木の伐採が必要で仮園舎が無理との事だか四宮小学校のような区内でも広い校庭がある区立施設で無理なら今後の施設再編計画（中高生優先児童館設置や小学校への学童クラブ移転等）行政として教育委員会への協力は望めないのではないかと考えています
たたき台が何であろうが、現在お世話になっているゆうゆう四宮館のたすけあいワーカーズさんを引き続き利用できるようにしてほしい。
区民集会所がどの年齢層でも利用できるような施設になれば嬉しい。
コストに関して 3 案の概算額、あるいはおおよその比率を示してほしい。
何度も書きますが、使える建物はそのまま使って、区民の血税を無駄に使うことのないようにしていただきたいと思います。どうしても建て替えなければいけない建物ではないのに、なぜ壊さなきゃいけないのでしょうか？もっと大事に税金を使って欲しいです。
受付などしてくれるさざんかの方々はとても親切に事に当たってくれるので、いつも気持ちよくゆうゆう館に通うことができました。
よく我が子たちに 1 人で図書館に行かせたりして、図書館を利用しています。公園などはまだ怖いので許可していませんが、室内で大人の職員のいる図書館は安心して行く事を許可しています、なので、たたき台 3 の案は図書館に行くまでに大きな道路を歩くことになるので、現地改築の 1 か 2 が嬉しいですね。
代替場所を必ず確保してほしいです。
取組みに関する意見 タイトル 柿木図書館についての考察 1. はじめに 公共図書館杉並区立柿木図書館の概要は、以下の通りである。 東京都杉並区上井草 1 丁目 6 - 1 3 （西武新宿線「井荻駅」徒歩 5 分） 営業時間：現在 9 時～20 時（日祝 17 時） 開設：1965 年 8 月 1 日 延床面積：1162.61 m²（地上 2 階地下 1 階） 蔵書冊数：108,286 冊（2025 年 3 月末現在） 1 階：児童室コーナー．新聞・雑誌コーナー． 2 階：一般開架コーナー．ジュニアコーナー．郷土資料コーナー 柿木図書館更新については単に更新するだけでは意味はなく、これを機会に杉並区の新しい図書館として再生する必要があると思われる。 2. 柿木図書館の課題 公共図書館のサービスは、図書館利用者と直接コミュニケーションする直接サービスと図書館運営の内部に関わる間接サービスがある。杉並区立図書館の図書館サービス基本方針は、「学びの場」「知の共同体」「楽しい交流空間」の 3 つの視点と取組みについての方針と計画を打ち出し図書館サービスの提供に努めており、毎年図書館サービスの利用者満足度調査と各図書館で自己評価を行い、その結果をもって課題や改善点をまとめている。 柿木図書館は他の図書館と比較すると新しい蔵書が少なく、新鮮度（開架冊数のうち新規購入冊数の割合）を調べてみると杉並区立図書館全体の新鮮度は 6.9%であるが、柿木図書館は 6.2%（2024 年 3 月末）で平均を下回っている。その他利用者満足度が他の図書館と比較して低い。図書館では本を探すという目的が多いが一般向け図書、児童書、地域資料においても満足度は低い数値を示している。令和 6 年ではレファレンス件数が非常に高い数値になっている。しかしながら平均的な満足度で

あるため、更なるサービスの向上が求められ、アウトでの顧客満足度を図り、インではレファレンス対応の充実として人的及びソフト面での向上が必要となる。

(1) 課題 1

課題と思われるのはレファレンスサービスである。

図書館状況報告書にある図書館サービスの中で利用者満足度が低く、自己評価でも低い。直接サービスの中でも最も重要であるのはレファレンス・サービスである。内容までは把握できないが、統計調査ではレファレンスにおいて利用者満足は40%以下で杉並区立図書館ではワースト2位である。結果内容を見ると「知っているが利用なし」54.3%で有効

活用されていない実態が浮かび上がる。

その他の内容では年間貸出冊数は昨年対比90.5%、レファレンス件数は昨年対比79.7%であり、貸出もレファレンスも減少している。ただ杉並区立図書館の平均をみると、年間貸出冊数は昨年対比85.1%、レファレンス件数は昨年対比67.3%であり杉並区公共図書館共通の問題となっている(2019年度実績)。2004年改訂の「公立図書館の任務と目標」には図書館サービスの基本は、住民の求める資料や情報を提供することであり、貸出、レファレンス・サービスを行なうとともに、住民の資料や情報に対する要求を喚起する働きかけを行なうこととある。貸出、レファレンス・サービスは図書館サービスの基本であり、図書館の共通の問題として捉える必要がある。

杉並区の「10年後の図書館像」では“図書館は進化する”と謳い、『人と情報・人と人がつながり、図書館で働く人々と、ボランティア、利用者とがコミュニケーションを深め、集い、交流する場となっている』と図書館像を描いている。そのためには個人や地域の課題解決に役立つための役割が図書館には求められ、更なるレファレンス・サービスの充実やデータベースの活用が重要だと思われる。

(2) 課題 2

日本は高齢者社会を迎え、高齢社会白書によると65歳以上の人口は3,619万人で総人口に占める割合(高齢化率)は28.8%(2020年10月1日現在)、2025年には3,677万人になると見込まれている。また加齢が進み、視覚・聴覚及び運動機能等に制限のある市民も増大する。

そのなか情報社会環境におけるインターネットの普及により、高齢者や障害者も利用せざるを得ない状況であり、図書館においてもすべての利用者に対してWebでの提供する情報をどのように利用できるようにするかは大きな課題と思われる。

特に公共図書館は市民のためのものであり、多様なニーズに応えていくことが使命でもある。障害ある人にも利用を可能とし、その人たちに配慮した情報通信機器やシステムの研究開発を推進するには、国の法整備や研究開発推進、民間研究開発に対しての国からの支援が欠かせないと思われる。また、性別、年齢、外国人、障害者、高齢者など多様な市民の多様なニーズに応えていくには、ユニバーサルデザインの考え方が浸透し、一過性のものではなく実践され続けていく必要がある。

参考としてはアメリカにあるブルックリン公共図書館では、高齢者サービスにおいてシニア・アシスタントと呼ばれる高齢者で構成されたスタッフがあり、高齢者向けの企画や運営に携わっている。シニア・アシスタントは、「シニアのことを一番よく知っているのはシニア」との考えで、来館できない人や高齢者施設への本の送付及びリクエストの対応、聴覚や言語に障害がある人にはキーボードで文字入力することで電話での会話ができる機器の貸出、その他施設、病院、図書館での公演、ワークショップ、上映会などイベントを企画する。その他図書館では、詩や短編小説の朗読、視覚障害の高齢者には手話通訳をつける、英語の話せない孤独になりがちな高齢者に対しての多言語サービス、「シニアのための保険・年金戦略」「シニアを狙った犯罪から身を守る方法」などの実践的な講座や相談会を実施している。

インターネットは高齢者にとって豊富な情報源であり、図書館では高齢者のパソコンボランティアを養成し、その後独り立ちしたシニアが別の高齢者にインターネットの使い方を教えることのできる仕組みを作っている。

障害者に対しても平等なアクセスの保証という考え方は変わらず、点字・録音スペースはバリアフリーで図書館内は車椅子で回ることができる。活字の読上げ機、文字を60倍に拡大できる拡大読取機、資料の色を調整できる装置、障害者用蛍光灯、テープレコーダー、タイプライター、全てのコンピュータに文字・画像の拡大、色を変えるソフトウェアなど情報テクノロジーが揃っており、広く活用してもらえるよう拡大機の使い方講座が頻繁に行われ、図書館ではコンピュータ、インターネット教室が連日開かれ、補聴器の貸出や手話通訳をつけてもらうことも可能である。

(3) 課題 3

特別な支援を要する利用者とは、「公共図書館利用に障害のある人々」であり、公共図書館は特別な支援を要する利用者も含めて、住民全てが平等に図書館サービスを受けることができるように役割や機能を果たさなければならない。図書サービスの基本は、資料提供であり、住民の状況に応じたサービスの提供方法を考える必要がある。

従い物理的障害、資料をそのまま利用できない障害、コミュニケーションの障害を有する狭義の障害者、高齢者、外国人の3つに分けて、その人々のための資料提供において留意すべきである。

障害者、高齢者、外国人の特別な支援を要する利用者に対して共通して言えることは、公共図書館は利用者の立場に立ち、どのような資料がその利用者にとって適しているのか、そしてその資料の提供をするにあたってどのような提供の仕方をするのか、利用においては利用方法をきちんと伝えていけるのかを考えていかななくてはならないと思える。

3. 改善案

文部科学省の「これからの図書館の在り方検討協力者会議」の内容をみると、図書館の目指す位置は、地域密着や教育機能を有した社会基盤としての図書館と情報提供を基本的な業務としたサービス機関の要件を満たす必要がある。またその両方を満たすためには図書館を永続的な営利組織として、経営戦略的なPDCA（計画、実行、評価、是正）マネジメントサイクルで課題解決を図らなければならない。現状、図書館経営活動の基本的枠組みは、図書館経営方針の決定を受けた管理活動のもとで図書館の個別業である作業が実行されることになるわけであるが、ここで重要なのは営利組織でも現場の実態、所謂利用者の評価をきちんと受止め、分析し計画の是正の必要有無を確認しながら進めていく必要がある。

評価には、環境サービスや業務手順の効率等のオペレーションレベル、図書館の持つ潜在価値を活かす各種戦略のマネジメントレベル、経営の安定や安全性、行政との連携のガバナンスレベル、図書館の基盤である人財、ボランティア連携、外部連携の社会体制レベルがあるが、それぞれ「質」「量」「効率」の指標を表し、それに対する評価をし、課題を明確にすべきである。

図書館ができる具体的な作業レベルには、海外図書館に参考となる事例があった。

「ニューヨークを文化的な都市にするためには図書館の充実が不可欠である」「文化を育むために重要なことは市民ひとりひとりが学ぶことを通して自らを高めるためには、誰もが自由に学べる環境整備が急務である」とニューヨーク市の知的リーダーたちが唱え、ニューヨーク公共図書館が生まれた。この図書館では市民のあらゆる局面をサポートする役割を担っており、ビジネスマンや企業人に対しては求人情報、投資セミナーを開催し、退職者に対してはリタイア戦略のイベントの開催している。また市民の健康を守ることをテーマに病気治療に最良選択ができるよう書籍からデータベースを充実させ、就職や転職、スキルアップのための支援、履歴書や面接戦略の講座開設し、芸術に関して

も過去の遺産を収集・保管するアーカイブ機能に留まらず歴史的・文化的に重要であると考えられる人物のインタビューの収録・保管がなされ、図書館を訪れた就学前の子どもには読書の楽しみ、その子の親に対しては読書のヒントなどを教え、学校を補完する教育機関として宿題の手伝いを行ない教師の授業作りまでもサポートしている。 このようなことをすべてできるとは思わないが、「市民のための図書館」として考えれば、図書館作業としていろいろな発想やアイデアを出し、現場だからこそできる提案は多々あると思われる。また、最近増えているカフェ併設（図書館だからこそそのテーマカフェ）もひとつのアイデアであると思われる。 4. おわりに 図書館サービスには、図書館活動業務の効率化、レファレンス・サービスの充実と利用促進、課題解決の支援機能充実、多彩な資料の提供、児童やヤングアダルト、各年齢層の充実、そして他の図書館との連携・協力、学校との連携・協力、著作権制度の理解と配慮など外部との協働を求められることも多々あるが、運営をPDCA サイクルで指標を持ち、きちんと評価をし、図書館としての組織的課題を明確にして図書館員の共通な課題として解決することが必要であると思われる。 柿木図書館の更新に置いて、単なる外観だけの更新ではなく、また大きな投資をすることなく新しい発想を持った杉並区ならではの図書館を望む次第です。
こうして住民の声を直接聞くためにアンケートを取る取り組みは斬新で、素晴らしいだと思います。一方で、アンケートに答えるところまで踏み込めない、或いは、知らない人たちのものたくさんいると思いますので、アンケートの結果がマジョリティーだと決めつけず、声なき声も念頭に置いた検討が必要かと思います。
3案の内、2案が現状維持的であり、初めから結論ありきの方向性が見えてきます。
個人的見解としてですが、老朽化した建物の更新につき、区としてどのようなスタンスで取り組むか、示していただきたいと思います。荻窪税務署の交換の件の総括を行い、その功罪どちらが大きいのかも集めてもよいかと思います（阿佐ヶ谷地区の河北病院の件も同様）。私としては、今後老朽化する施設も増える中、部分的な改築よりも長期を見据えた抜本的な工事（新築）が望ましく、現有地で出来ればそれに越したことはありませんが、土地がない以上、他の区所有施設と場所を入れ替えながら建て替えるという点は良いことだと思います。そのくらいしないと抜本的な改良は出来ないのでは？
老若男女皆さんがそれぞれに活用の要望が通り、施設に沢山の人が集まり、地域の活性化に繋がると良い
図書館に、雑談 OK スペースがあるといい（たまたま会った友人と話したり、図書関係の打ち合わせに使ったりしたい）。たたき台3にコメントした仮設取り壊し費が浮くのであれば、数人が入れる防音ブース導入×2or3 もいいと思う。現在、四宮小に本の貸し出しなどの支援をしているが、工事の間などは児童にどう支援するのか気になる。7年かかると、まったく図書館からの支援を受けずに卒業する児童もいるので…
資料では保育園仮設中は園庭がないとされているようですが、遊び場として開放する敷地を残さずに園庭として使用することはできないのでしょうか。
改築にどのくらい費用と時間がかかるのか気になった
今やっていることを中断しないで継続出来る様に代替え場所を確保して欲しいです。
なるべく早めに改築して欲しい。図書館の自習スペースを広くし、自習席を多く設けて欲しい。

特定の用事だけではなく、災害時や小さなイベントや打ち合わせなど、色々な用途に使えると良いなと思う。学校で役員をしていた時に、集会所を打ち合わせに良く使わせて頂きとても良かった。お喋りで少し賑やかにしても良いエリアと静かに過ごせる場所と、両方があると良いなと思う。
杉並の方針は最大です。
柿木図書館と他の施設との合築は反対です。ある程度のスペースが無いと蔵書数も確保出来ないと考えます。街の本屋さんが姿を消す昨今、私達年配者にとって図書館は大切な知識を吸収できる大切な場所です。
図書館の老朽化は著しく早めの実現を希望する。
行政主導でなく、区民や地域の意見を大事にする点は大変良いと思います。担当職員の方のご苦労やご尽力に頭が下がります。ここまで区も検討したことで、どの結論に達しても納得いただけると思います。
昭和ではなく、令和になっているのですから、優先順位を付け、それに従った客観的な判断をしていただきたく、切に思う次第です（現状は周辺住民の方々の既得権益を守ることが最優先と判断されているということでしょうか？）。
施設の更新について利用者である住民も意見を出せる機会があることがとても良いと思います。たくさん意見があり、取りまとめるのは大変だと思いますが、意見を言えたことで決定事項への納得感があると思います。最後に決めるのは行政の仕事だと思いますので頑張って下さい。
施設の環境を整えて取り組んで欲しいと思います
区民の意見を聞いてくれてまずは感謝。一方で保育園の移動は絶対反対
利用方法をアピールしたり、そこにあることの周知に力を入れるなど、活用の仕方を変えていくとさらに良い場所になっていくのでは、と思っています。
まだ間に合う。提案が3つある。まず、築年数の深さ浅さで単純に施設の更新を紋切り型で検討する方針を改めて欲しい。次に、柿木図書館の更新と、区民集会施設・保育園・ゆうゆう館の改築・更新は切り分けて検討して欲しい。さらに、柿木図書館の更新については、建設コストと環境負荷が最大となり敷地内の既存高木を大量に伐採することになる新築だけではなく、既存躯体（耐震性はある）、特に地下空間を再利用したうえでEV塔などの増改築を含めた機械・電気・空調衛生設備の大改修で乗り切る方法も同時並行で検討してもらいたい。建物解体を前提に来春に新築の基本設計を発注する前に、これらの選択肢についても十分検討し、結果を公表してもらいたい。オープンハウスで得られた情報では、以上の点についてここまで関係者間でどのように熟慮・検討がなされたのか、明らかになっていなかった。対象とされた施設の中で最も差し迫った課題を抱えているのはおそらく保育園であり、仮設工事の有無も含めて早急に対策を練る必要性は認めるが、ここに図書館敷地とその更新を絡める理由が全く分からない。区の関係者は、築61年に至っても耐震性を維持し続けているこの図書館建築とその周辺環境（“みどり豊かな住まいのみやこ”の典型）の価値を理解していないのではないか。建築物は古びたからといってただ壊せば良い代物ではない。時代のトレンドは新築からストックの再利用へ、変わらざるを得なくなっている。（上井草1丁目が柿木町と呼ばれていた時代を知る一住民より）
図書館の移転には、反対したいです。図書館は、ただ利便性だけで立地を選ぶ施設ではないはず。いまの柿木図書館の環境を求めて、昔から練馬区からも利用者が来ています。区民以外は本を借りることはできなくても、静かな環境下で読書できる場は貴重だから。
たたき台1、たたき台2になったら個人的に嬉しいです。よろしくお願いいたします。

四宮区民集会所はいつも利用させていただき、大変きれいで清潔で、使いやすく感謝です。
図書館は静かに落ち着いて利用できる場所であることに越したことはありません。工事は長期間にわたっても、地震対策がなされている施設になってほしいです。今川図書館のように 2 階は児童書、1 階は新聞、大きな字の図書を置いてほしい。
それぞれの場が、更新されてよかったと多くの人が思えるように、前進してほしい。
「たたき台 1」についてですが、今回区民集会所を改築しなかったとしても、近い将来的には老朽化による工事が必要になる可能性が高く、短いスパンで再び大規模工事が発生すれば、近隣住民や施設利用者への負担が大きくなります。その点、「たたき台 2」は関連施設を一体的に整備でき、将来的な工事回数や負担を減らせる点で合理的だと考えます。
施設の改築は地域活性化に非常に有意義だと思います。
本はネット検索できるので、受け渡しができる場所が多い方が便利。
特別感が欲しいですね
図書館が好きなので、是非素敵な図書館ができるのを期待しております。
地域の意見も取り入れながらの進行で、完成が楽しみ。今後メイン層となる年代の意見もたくさん募れると良いですね！
更新工事期間中のゆうゆう館の使用について十分な確保をお願いします。高齢者にとってとても大事なことと思われます。
図書館のみの改築が良い。併設は考えなくても良いのではないかな。できればカフェみたいなくつろぎの場所を設けたほうが良い。
配置入替は絶対反対します。
ゆうゆう館は今と同じように利用していきたい。高齢者団体の優先枠確保希望。
改築には賛成します。特に、図書館は、子供がたくさん利用できるような明るく開けたイメージにしてほしいです。たたき台 2 を希望します
特に図書館利用の多い身としては建て替えを強く希望。施設同士の配置換えは強く反対。
利用者及び潜在利用者の意見、もしくは区の行政側の意見などを交えた総合になると思います。
資料がわかりにくく、それぞれの案についてのメリットデメリットなどの情報を探すのに苦労した。
各利用している住民の意見を聞いてくれるのが嬉しい
いろいろ検討していただいてありがとうございます。
工事中体操教室が中止にならないよう、代替りの場所を考えて頂きたく思います。TBC 上井草テラスという施設が何も使われないままあると聞いています。そちらなら通えます。あまり遠くの施設では通うことができません。体操教室は、私を始め高齢者が多いので近くで参加できることが重要になります。私は骨密度が悪いのですが、今の体操で少し上向いてきています。整形外科にも運動を勧められていますし、継続できないのは非常に心配です。是非健康維持の為継続的に体操教室で運動出来るようにお取り計らいお願い致します。
代替場所の設置をお願いします。今の場所がなくなると困ります。遠方ではなく近場を希望。
こういうオープンな取り組みはとても良いと思います。
高齢者は団塊の世代をピークに減って行くでしょうが、区民福祉の観点から、高齢者のこうした施設の必要性を感じます。
図書館はこのままの所をお願いします。

西武線の北側に図書館や子どもの居場所が欲しい。南側に住んでる人は荻窪や西荻に施設があるが、北側は線路を渡るのが負担。踏切がとにかく開かない。
井草地区に図書館が 2 件とされていますが、井草地区もそれなりの広域にまたがっており、地図を見た場合、現在地の下井草と柿木が果たして井草地区の 2 か所として妥当な地理関係かは、（ご承知のことと思いますが）再検討を要すると思います（井草北部地区には設置の検討はされないのでしょうか）。
柿木図書館の所在地は地域に密着、定着している。環境、緑多く良い。たたき台 3 はこれから目に見えている少子化にそぐわない。
住民や利用者の声に耳を傾けるととてもよい取り組みだと思います。
60 年経過したら改築という杓子定規な印象を受けた。安全面等に問題がなければもっと柔軟な対応ができるのではないかな。立派な図書館を前に心からもったいないと思う。上野の西洋美術館は 60 年経過しても改築しないし。もう仕方がないけれど贅沢に使ったコンクリートが全部ごみになってしまおうと思うと残念。そのくらい I love 柿の木図書館です！
改築中での会場（ゆうゆう館）閉鎖について、代替会場希望。代替会場としては、ちょうど上井草テラスなどの建物が使えないのかという意見が出ています。これを借り上げてその期間中に利用できないかとも思います。
シンプルに古くなった施設をその場所で改築してほしいです。図書館にはおしゃれさは求めません。改築は必要なことだと思いますが、閉館期間が短くなることを望みます。よろしくお願いします。
大切なのはハコよりも運営です。図書館については改善が必要です。何か勉強するためでもなくただ雑誌を読みにくるだけの方が寄りつかないように工夫して頂きたいです（表には置かずに、研究目的を必ず確認するなど）。他の区や大学の図書館 10 ヶ所ぐらいから年に 2 百冊ぐらい借りているので頻繁に行きますが、柿木図書館はそこでもかなりひどい部類です。
住民の意見を吸い上げてくれるのはありがたい。
図書館はぜひ今の場所に残してください！
現在四宮保育園の 5 歳児クラスと 2 歳児クラスに子供を通わせている。妊娠中で今年の 8 月出産予定なので、第 3 子もいずれ四宮保育園に入園させたいと思っており、第 3 子が年中、年長時にたたき台 1,2 なら仮設園舎、たたき台 3 なら新園舎へ通うことになる。たたき台 1,2 は保育園の園庭が現在より小さくなること、仮設園舎が線路より北側になることが気になる。保育園の園庭が小さくなると言っても杉並区の中では大きい方とのことだが、現在の園庭で毎日子供が伸び伸びと外遊びを楽しんでいるのを見聞きしているので、園庭面積は維持してほしい。プールや畑、花壇もあり、広い園庭では毎年運動会がある。また、園庭が広いので複数の学年が同時に外遊びができ、学年の隔てなく子供達の仲が良いのも良いところ。また仮設園舎があまり近くなく、踏み切りの北側になることも気になる。送迎時間帯は踏み切りの待ち時間も特に長くなると考えられ、子供連れで毎日踏み切りを渡ることの安全面も気になる。仮設園舎に園庭がないことも気になる。仮設園舎を踏み切りを渡らずに済む近隣の公園(四宮森公園、瀬戸原緑地、柿の木北公園、上瀬戸公園、どんぐり山児童遊園、道灌橋公園、今川二丁目公園、今川一丁目公園、三谷公園等)に建てるのは難しいのか。難しいのであれば理由も合わせて知りたい。また、たたき台 1,2 について資料に「ゆうゆう館で行われている保育園児と高齢者が交流しているイベントを継続しやすい」と記載があった。念のため四宮保育園の園長に確認したところ、コロナ前は囲碁を教えてもらいに行っていたが今は教えられる人がいなくてコロナが明けた今でも再開していないとのこと、年長のみ年に一回ゆうゆう館の方と交流していて、折り紙やエ

アロビクスなど行っているとのこと聞いた。ゆうゆう館と保育園の敷地が離れても年に1回程度の交流なら保育園がゆうゆう館へ出向くことで解決できると思う。年に一度、年長クラスのみ交流しているだけで資料に記載するのは誤解を与えるので、記載の削除や現状を周知してほしい。
耐震性を満たしているのであれば、図書館を改築する必要はないのでは？
今、ある場所を変えるのは抵抗が大きいと思う。
西武新宿線沿線は賑やかさに欠けるので、区の施設から盛り上げ、地域の活性化につながると良い。
案の出し方（3案）、メリット・留意点、参考にした意見、がわかりやすく区民としてどのようにしようかが考えやすかった。
「たたき台2」を支持します。
あさがやまちづくりセッションや下井草ラボのように井荻駅を中心とした未来ビジョンも考える長期間のワークショップができれば良かったと思う 西荻デザイン会議のように部会をつくり気になる区民が気になる課題を掘り下げたかった（西荻デザイン会議の部会のように一部の区民のみが区予算を使う事には賛否があるとは思いますが）区内14館図書館構想は理解しているが今川図書館と下井草図書館があれば新たに図書館としては作らない（柿木図書館にあった書籍は他区立施設に分散させる）などの大胆な提案も話し合い出来る時間が取れるワークショップにしたかったです オープンハウスに各所管の担当者がいてどんな質問にも対応して頂いたのでモヤモヤがなくなり助かりました （資料も見やすくてとても良い）区立保育園の必要性についてももう少し説明して欲しかった（なぜ私立保育園では駄目なのか中核保育園について等）今後のワークショップやオープンハウスの資料としてゆうゆう館とコミュニティふらっとにおける高齢者向け企画割合や一般向け企画割合のデータがあると良いと思います 今回のたたき台が出来てから複数回ワークショップを行なった方が効率がいいような気がします（区民は行政上出来ない事がわからない 夢を語る事も必要だと思いますが）柿木図書館休館中の書籍の管理方法や貸出方法の説明を詳しく知りたかった
無駄に更新はせず、インフラ整備などに使って欲しい。
集中合理化が良いと思います
工事の日程その他情報は都度告知をお願いします。
たたき台1を具体化することを希望する。
今後、区内のあらゆる地域で施設の再編整備事業が行われるでしょうが、柿木図書館周辺施設の更新が良いお手本(成功例)となるよう願っています。そのためには、良い館はもちろんですが、それぞれの施設で事業を運用する人たちの力が鍵になると思います。特に柿木図書館の職員の方々には今まで以上にサービス基本方針に沿った働き方をお願いしたいです。だからといって、安易に指定管理者制度を導入してほしいとは思わない。図書館はもちろんのこと、保育園も同様で、区が責任を持った直接雇用の資格者を配置して育ててほしいと考えています。
たたき台の3つの案のすべてで、高齢者が利用するゆうゆう館相当の施設が3年間、休館になります。区からは代替として、既存の施設が提案されていますが、高齢者にとっては非常に遠いです。多くの団体が活動できなくなり、外出の機会が失われてしまいます。そこで、保育園のために仮設の保育園を用意したのと同じように、以下のような近隣の区立の公園に仮設のゆうゆう館を用意することはできないでしょうか。・四宮森公園・四宮公園・上井草向山公園・上瀬戸公園・柿木公園・柿木北公園・保育園を仮設する場所。『四宮公園』、『四宮森公園』、『上井草向山公園』はそれぞれが非常に近い場所にあります。『上瀬戸公園』の奥の方は災害時に活用するためかもしれませんが特に遊具もありません。近くには『どんぐり山児童遊園』があります。『柿木公園』と『柿木北公園』もそ

れぞれが非常に近い場所にあります。杉並区は公園が非常に多く、住みやすいと思いますが、3年間（工事も含めれば4年くらい）だけ、近隣の公園を利用させていただくことはできないのでしょうか。保育園を仮設する場所ですが、保育園は仮設できるのになぜゆうゆう館の仮設の案が出ていないのでしょうか。せめて団体が利用できる部屋を2つだけでも用意していただけないのでしょうか。
柿木図書館をよく利用する身としては、今の場所から移転となるのは寂しいです。
今の柿の木図書館は、場所と形態を変えないことを希望します。
現地で職員の方にも口頭でお伝えしましたが、改めて文書で意見を送ります。私はたたき台3を支持します。この案を採用されますこと強くご要望致します。理由としましては、1.費用面で優れていること。2.子ども目線で考えたとき、仮設園舎（線路に近い環境）を挟まず園舎を移転できた方が負担も少なく、遊びの制限を受けないこと。3.柿木図書館と集会所（+ゆうゆう館）を一体化した方が一つの場所で完結できることが増えること。4.移転した方が柿木図書館の所蔵数と勉強スペースを増やすことができること。以上の点が主な支持理由です。現地でお話した際に出ました懸念点について意見を申し上げます。図書館の長期休館（6年）について。予約本の受け取り窓口は最初の3年は区民集会所、後半の3年は民間施設（レンタル）が候補になりえるのかなと思います。本の受け取りにつきましては、近隣自治体が行っている駅前には置き配ボックスを置いて利用者が自ら取る形式もこの際、導入をご検討下さい。集会所及びゆうゆう館の代替につきましては四宮の森児童館（児童がいない時間帯のみ）や上井草スポーツセンターが候補になると思います。現地でお話した際は学校も候補になるとお話ししましたが、セキュリティ上のことを考えると候補にするのは良くないと思い、発言を修正させていただきます。（児童と利用者の導線を分けられるなら候補にするのはありだと思います）私が節にお願いしたいのは、たとえ不便になっても代替は極力今ある建物を活用してほしいということです。仮施設を作ってしまうとこの案の良さが失われてしまうと思うからです。名称については移転しても「柿木図書館」とすべきです。（旧町名を継承することはとても大切です）現柿木図書館の樹木につきましては、木陰をつくる・外から見えないようにする等の観点から活用できる木は残すようお願いいたします。最後となりますが、今回の施設建て替えは将来世代のためであることを忘れないでほしいです。具体的な施設内（図書館及び保育園）のレイアウトは決まっていないとの事ですが、ぜひとも子どもたちの意見を反映した施設にしてほしいです。よろしくお願いいたします。
保育園の仮設場所としてもっと近いところにあるとありがたいです。仮設を利用せず、たたき台3の案が利用出来るのであれば令和13年度までに図書館を解体し、保育園を新築できると移転の引っ越し作業等一度で済むためスムーズなのかと感じます。保育園が広くなれば園児の募集を増やして良いと思いますし、周辺環境は慣れも出てくるものだと考えられます。引っ越しを2度もすると職員、園児、保護者が特にストレスがかかります。案ですが、四宮小学校もそろそろ改築の時期なのかなと思いますので、四宮小学校を改築する際、土地を分筆して保育園に移設する案を検討するはどのようなのでしょうか。教育委員会とも話し合いが必要かなと思いますので、行政側は嫌なのかなと感じますが、メリットは検討幅が広がります。やはり、たたき台1や2は今までと比べ保育園が遠くなり、駅前ということで踏切を渡ることや自転車を停めること等など不安に感じてしまいます。
保育園のような、小さなトイレもあるといいです。
改築には賛成ですが、現状保育園を利用している者からすると移転には後ろ向きです。
税金の利用ではあるため、短期的な投資額も大事であるが、長く利用する施設のため、地域住民の長期的な利便面を考慮して、総合的に検討いただけるとありがたい。

これから長く使用することになると思うので、若い人も含めて、みんなが使いたくなる施設でないと改築する意味がないと思います。担当者の方は大変だと思いますが、よろしくお願いします。
この地域は公共交通に若干の不便性があるものの、人々に強い団結力がみられ集会所や保育園を含め、子供から高齢者までよりスピーディーに互いを見守っていける地域になるように祈っています。
たたき台1がいいと思います
せっかく作るので土地を最大限生かした計画にしてほしい。
地域によって図書館に来たらこんな楽しい事があると言った取り組みがなされているのをテレビで見ました、例:貸出カードを預金通帳の様にして借りた本などが記帳されていくと言ったもの。
住民の皆様が意見を出し、まとめていく施策はいいと思うがスケジュールを見える化して動いている事を見せる事も必要だと思う
近隣の学校や児童館も含め、幅広い年代の方が長きに渡って生活の一部として利用出来る環境作りが必要。
今の図書館がとても好きです。仕方ないけど残念。
古い建物を建て替えるのは必要だと思いますが、今利用している区民がその間利用できる代わりの場所を提供していただきたいです。シニアなので間が空かないようにしてもらいたいです。
たたき台3に賛成です
図書館は閉館期間はネットの貸し出しのみで、受け取り、返却の場所を準備すれば良い。その他の保育園、ゆうゆう館、集会所は人が集まる場所なので、閉館期間の無い案を考えるべき。
図書館はいつも利用していますので今の場所がいいです。3年もかかると聞いてそんなに長く使えないのかとガッカリしています。他は利用した事がないのでよくわかりません。
築年数の古い建物を改築することについては賛成しますが、築年数が比較的浅い建物についてまで改築をするという案は税金の無駄遣いになる可能性があると思います
図書館の本の在庫がやっぱり少ない。新刊を読みたくても予約人数が100人以上になると読みたいという気持ちが削がれてしまう。仕方ない事だとは思いますが、もう少しスムーズに読めたら良いと思います。そのためにはスペースがないとダメなのかなと…
たたき台2、3が良いのではと思います。現在、ゆうゆう館利用中なので、工事期間中の代替施設を設置してほしいです。高齢者は一度運動をやめると再スタートが難しくなりますので、よろしくお手配を。
老朽化の早期改善を望みます
3～4年の間の工事中に今まで通りの練習ができるよう、場所の提供をお願いします。
施設の配置を変えることは反対意見で、たたき台2がいちばん効率的な改築だと思います。
公共の場所は区の方角性が現れる場所なので、建物ありきで考えるのではなく、それぞれの機能を十分に考慮してもらえると、住民としては嬉しいです。
柿木図書館にエレベータを備えてほしい。バリアフリーにしてほしいです。
こんな静かな場所に大きな施設は必要ないと思います。それぞれの必要最低限な改修で十分です。
問題点を、もっと明確にして展示してほしい。
費用やそれに伴う住民の負担も議論して、後世の負担を少なくする議論もしてほしい。
新たに作るのであるから、今までの形に捉われず、30年程度後を考えて作って欲しい。また、一緒になって人を減らしすぎて、サービスが低下する事がないように気を付けて欲しい。

一年かけてワークショップをやらずともこの三案は出せただろう。そうなるこの取り組みの是非は、WSのために費やされる時間費用の効果(改築スピードの遅れとそれに伴う資材価格の高騰などを含む)と熟議に市民十数名が参加して、参加意識(要するになんかやった感)が高まる効果の比較になる。現市長は後者の方が大きいとお考えだと思うが、私を含めて前者の方が大きいと考える市民も多いように思う。特にこの手の取り組みに参加する市民はもともと意識が高い傾向があり、そのような方の意識を高める限界効果は大きくない。
区長が変わっても杉並区で何かが変わった気がまだしませんでしたのでこれから頑張ってください
区民の意見を取り入れてもらえるのは嬉しいです。
区民集会所、保育園、ゆうゆう館については行ったことがないのでわかりません。柿木図書館はかれこれ50年間利用しており、生活の一部となっています。私の家は青梅街道近くの桃井一丁目にあり、北に向かって歩いて今川一丁目を通り抜け、さらに早稲田通りを渡るとようやく到着します。これ以上図書館が北側に移転となるともう柿木図書館には通えません。図書館通いという楽しみがもぎ取られることとなります。現在85歳、是非現在地での改築を実現してください。お願いします。なお、柿木図書館の「柿木」という名称は、かつてここが杉並区柿木町だったからです。もし西武線近くに移れば、それは柿木町ではありません。柿木町でなかったところに柿木図書館が移ってももはやウソの名称になります。
児童館・保育園のハイブリッド案はなかったのだろうか。兄弟がいる家庭は、あちこち迎えに行かずに済むため、現実的であろうと思うが。もっと言うなら、うちは幼稚園のあと図書館に良く行っていたので、図書館・児童館・保育園のハイブリッド案もアリだと思う。
この様なアンケートを行い、区民の意見を反映して頂けるのはありがたい
柿の木図書館の庭や周辺の緑地をなくさないでほしいです。
アンケート設問が偏向していませんか？
現在のゆうゆう四宮館はエレベーターもなく、長く急なスロープの上り下りが必要で、全くお年寄りに優しい造りになっておらず、怒りすら覚える。ここの改修は一刻も早く着手して欲しい。改修にかかるおおよその予算額の提示がないと、どの案が良いかのちゃんとした判断は難しい。
たくさんの区民の生活の一部となり得る施設が出来ることに期待しています。
図書館の場所は変えないでほしいです。
是非とも移転せずに改築をお願い致します。
図書館を残してほしいです。
柿木図書館はかなり年季が入っているので、早く建て替えて欲しい。
2025年のワークショップは知らなかったが、今回オープンハウスに参加できてよかった。詳細に書かれた冊子もわかりやすくとても参考になった。図書館は移転しないでほしいし四宮区民集会所と保育園の土地は有効活用してほしい。たたき台2が良いと思った。
いつも利用している図書館が綺麗で使いやすく居心地よくなる事を楽しみに待ちたいと思います。
図書館の老朽化は、利用者としてとても気になっていたもので、今回の取り組みを知り有難いし、新しい環境が待ち遠しいです。
なにかを整備するたびに木が倒されていくのが切ないので、なるべく残してほしいです。
柿の木図書館に植える木は常緑樹で、管理のしやすい木にしたら良いと思います。図書館のまわりは路上駐車がが多く、子供たちが危険です。図書館に駐車スペースを設けたら良いと思います。
現在地から移転させるのはやめてほしい

別提案になりますが、農業が継続されていないように見える生産緑地がかなりあります。（植木だけ植えられている土地や半分も畑として使用されていないものや、ビニールシートが張られてなにも活動していないものなど）この土地の所有者は営農意欲が低下しているか、手いっぱいそれ以上営農ができない方だと思われます。ですので、公共の用に供する土地として存在する低稼働の生産緑地を買い取り（現在の土地を原資にして）、そこに新築すれば施設の運用停止もなく、区民に支障なく更新できると思います。移転を問題視している人は近隣住民の方たちと思われますが、私たち杉並の北に居住している者にとっては図書館が近くにありませんので、現地建て替えの必要性を全く感じません。是非この提案を実現していただきたい。
大がかりなプロジェクトなので、どうせやるなら思い切って全部更新の方が良いと思います。
現在の場所変更はやめてほしい
現在の配置は変えないで頂きたい
今回は自宅への投函チラシで知ることができましたが、より多くの方に情報が届くよう、周知方法がさらに広がると良いと思います。
図書館にカフェコーナーやイートインスペースが欲しい。子供の絵本スペースをもう少し広く取って欲しい
定性的な事柄だけでなく、判断するために有効な定量的な比較を示して頂きたいです。
保育園のような、小さなトイレもあるといいです。
区民として、お金がかからない方がいい。
計画は速やかに実行して欲しい。
保育園は利用者が限られ、最大6年間の期間限定利用であるため、施設の運営継続性は重要であるが、利用者数や利用期間を考えると、利便性などの面では、図書館や集会所の将来性に重点に検討いただきたい、地域住民の利便性や満足度が上がることは、将来的に地域に長く根付く住民の創出にもつながると思う
図書館は現地改築にしてほしいと思います。
上井草三丁目に住んでいるので、行ったことあるのは柿の木図書館のみ。充電器等回収ボックスに何度か入れに行ったことがあるくらいです。状況がイメージし辛かったです。たたき台1〜3でご意見を！という1枚のチラシがポストに入っていて、家族全員「ナンノコッチャ???'となりました。QRコードをあさり、ナンノコッチャについては分かりましたが、せっかくチラシを作り投函するのであれば、ナンノコッチャを3〜5行くらいで簡潔に説明する文が入っていると、意見を出してくれる人が増えると思います。そうじゃないと、ナンノコッチャ分からないので嫌な気持ちになり、そのまま資源ごみになるご家庭も多いのではないかなと思います。
アンケートの取組は良いと思う。区民の意見の反映させるべく、アンケート結果も知りたい。コミュニティふらっと、地域区民センター、ゆうゆう館など、名称がいろいろで、機能が分かりにくいと思う。いつか統一していただく方が多世代が利用しやすい場になるのでは？
よろしくお願いいたします。
それぞれの施設の利用者が一番不便を感じることなく、本来の活動を続けていけるようご配慮いただければ幸いです。ゆうゆう館でのグループ活動は、高齢者にとって人と触れ合い、生きがいを感じられるものとなっています。よろしくお願いいたします。
井草北部地域の住民にとって、図書の貸し出し、返却がその都度、線路を越えていけないといけないという状況にも注視いただきたいと思います。少なくとも、井荻駅や上井草駅の近くに予約本の受け取

り及び返却のできるカウンターの設置程度は考慮いただきたく思っております（新規提案です）。低予算で成果をアピールできる施策かと思いますが。
利用者に向けてのワークショップ、表面上は聞き取りをして丁寧な対応をしているような様子だが、その場の対応だけで、実際に聞き取った意見を基に検討してもらえるような感じを全く受けない。決まっていることを前提に話をしているようならば時間の無駄。若い世代の意見を尊重するというのも大事かもしれないが、同じくらい高齢者の意見も大事にしてほしい。
工事中に他の場所を是非提供してください。
近隣に住むものとして、高齢者の見守りに配慮しているゆうゆう館は必要不可欠だと思っている。これからもっと増える単身の高齢者の居場所を子供の居場所同様に考えて欲しい。今の案では高齢者が置き去りにされている感じがする。高齢者施設も保育園と同様に閉館の間の代替え地を確保して欲しい！また、静かな住宅街に広い建物がたつことも同意しかねる。ゆうゆう館が3年間閉館する事が不安でならない。
区民集会所を仮保育園にする。園庭は近所の公園にする。梅林（民間）に保育園の仮設にかかる費用で期間限定で土地を借りる（使い終われば梅を植える）。集会所はすでにバリアフリーなので、その後改築せずに利用診断の上、築60年に限らず改築を可能な限り先延ばしにする。できるだけ既存の資源を生かし、閉じている期間を短く、費用を抑えて仮保育園にできるところが探せたら良いですね、と思いました。
私は長年 スポーツアカデミー指導員でもあり中国武術の指導員でもあります。この地域の人々との深い繋がりを今後も続けて行きたいと日々願っています。
図書館は、本来の目的である蔵書の充実をして欲しい。見栄えでなく中身が大切だと思う。図書館に限らず他の施設もそうだと思いますが。
図書館は現地改築を希望します
取り組みの進捗がわかりやすく、丁寧に情報発信されていると思います。
ワークショップによって導き出されたという3つの「たたき台」の前提は問い直す必要がありそうだ。
近隣住民へのアンケート（ポスティング）がとてもありがたいです。知っている人だけの意見で決まらず、置いていかれた感が減ります。
保育園の移転は、保護者にとって影響がとても大きいです。多くの保護者が、時計と睨めっこし、勤務先に遅刻しないかヒヤヒヤしながら毎朝登園し、帰りは駅までダッシュして電車に飛び乗り、お迎えに向かっています。私の子どもはすでに卒園して久しいですが、もし移転になる場合は、入園前に移転することが分かっていることが大切だと思います。移転するならば、その保育園へ入園しなかったのと思う保護者が出てくる恐れがあります。
もちろん予算も優先度は高い方でしょう。特定の方々の意見を尊重し、その方向性に従うというのは、令和の現在ではまかり通らないと思いますが、昭和のやり方を踏襲するのでしょうか？
幅広い年代が利用でき、地域の活性化に役立つためのいろんなことを発信してくれる便利な施設になってほしいです
柿の木の図書館で育って37年、今は子供が毎週本をかりて使わせていただいております。杉並区は図書館が充実していてとてもありがたいので今後も老若男女が使える施設のため区役所のみなさんのお知恵をお借りしたいところです。区民施設では定期的なイベントを楽しみにさせていただいています。区民が使いやすい施設を目指して、ご検討お願いします

工事期間の休館の間、使える施設（代替施設）を考えてほしい。
ワークショップでも意見があったように、ほとんど使用されていない(区民集会所横の)梅林を買い取って保育園、区民集会所、ゆうゆう館をあの場所に建て替えてください。
全体的に綺麗にすれば利用者も増えるし防災設備など災害にも強く安心して利用出来たらよいですね。
この4施設の改築計画に関して、以下の事項を最優先としていただきたい。現在当該施設を利用して活用している区民と区外民の活動の継続性を考慮する。対策案として、①改築中の施設利用者が活動できる公立中高校の空き教室を利用する。②各施設を現在地から移設して、新たに改築し、工事期間中は現在施設を利用し、現在施設が完成次第移動する。新たな移築用の土地としては公園などの公有地や地域内遊休地と現用地との等価交換等が候補として考えられる。
乳児、幼児、小学生、中学生、高校生から老人まで幅広く使える施設があると理想的だと思う
駐輪場の横の空きスペースを駐車場にしてもらえないか。友人が使いやすいということで、少し離れた場所から柿の木図書館を利用している。子どももいるため車で行くのだが駐車場が近くになく、路上に停めていても駐禁で捕まってしまう心配でゆっくり滞在できないという声を聞いたことがある。自習スペースで、壁に向かって1人ずつ個人空間が確保できるような机と椅子があると嬉しい。
世代や性別を超えて、気楽に交流ができる施設があると良いと思います。低価格で利用できるカフェなどがあると良いですね。
四宮小学校の生徒さんがどれくらいいらっしゃるのか不明ですが、空きスペースがあるなら小学校の一角を保育園や集会施設に利用するのも一案だと思います。
ずっと生まれ育った場所にある、遊びに使った施設が変わるという事でドキドキと不安が入り混じっています。今回の様に、自治体だけで決定せず、住人の声を聞いて下さるのは心強いです。
改築にはなるべく費用をかけず、費用をおさえて、中身を充実させてほしい。
現有地でそれぞれ更新する場合、やはり保育園舎の仮設が気になります。この場合のデメリット（負担）が明示されていますでしょうか？面積もそうですが、踏切を渡る関係性ということで、今まで通っている方の負担増、保育園としての建物基準に合致するために簡易な建物ではダメで、設計・建築費もそれなりにかかる、使用後の建物・土地はどうするのか？（解体??）等々。原案では案3の図書館休館期間6年が強調されているように見えますが、これが一番気になる点なのではないでしょうか？
柿の木図書館は閉架中心で良いので、閲覧スペースを大きく取ってください。
図書館も集会施設も地域の文化の拠点です。誰でもいつでも利用ができる区民が交流しやすい料金で使えるように設定してほしいです。
改築後の施設のLED照明がガラガラと過剰に明るく眼への刺激の強いものにならない事を切に望みます。色温度を調整できる照明で、昼間は昼白色、夕方以降は電球色に切り替えるようなことができれば素敵だと思います。
オープンハウスなどで区民に開かれた施設計画の提示はありがたいです。平日の午後は限られた人しか来場することができないので、土日あるいは夜（20:30 ころまで）説明会をやってほしい。
先にも書きましたが、改修工事は新築よりお金がかかります。それでも既存資産を大切に使うような、自治体に育って行って欲しいです。それが、長い目で見て子供たちの教育に繋がるとも思っています。地球の行く末に、世界的に危機感を持っているいまだからこそ、持続可能な社会になれるように考え方を切り替えていきましょう。

施設の更新に期待しています。どの案でも良いです。
取組に区民の意見が反映されるのは嬉しい。期限を設けて、なるべく計画の遅延が発生しないように進めてほしい
昭和の美しい建造物を環境負荷をかけて、壊してしまうことに大いに疑問を感じる。イベント時にしか使われていない地下スペースを、有効利用する等で、狭さを解消することもできるのではないか？
このように意見を集めた後、それがどのように扱われるか、当然気になります。他の方もいろいろな見解をお持ちだと思います。全てを公表されてはいかがでしょうか？（私は構いません）幅広く区民の意見を拾いたいということでしたら、特定の方々の意見を尊重するばかりではなく、このような個々の意見に耳を傾け、その反響を諮ることこそが重要なのではないのでしょうか？個々の意見に耳を傾けるという路線で進めていくということでしたら、今回のように3案に限定してアンケートを取ることで、当初の主張・スタンスに反するものと考えています。
区民集会所や、ゆうゆう館をもっと、区民の方に有効活用して欲しい。
杉並区全体のバランスを明示してほしい
区民にも意見を聞いてくれる場やアンケートを取る取り組みに感謝しています。
このような意見を聞いてくれる取り組みは嬉しいです。